

登録数一部位別 <2018年>

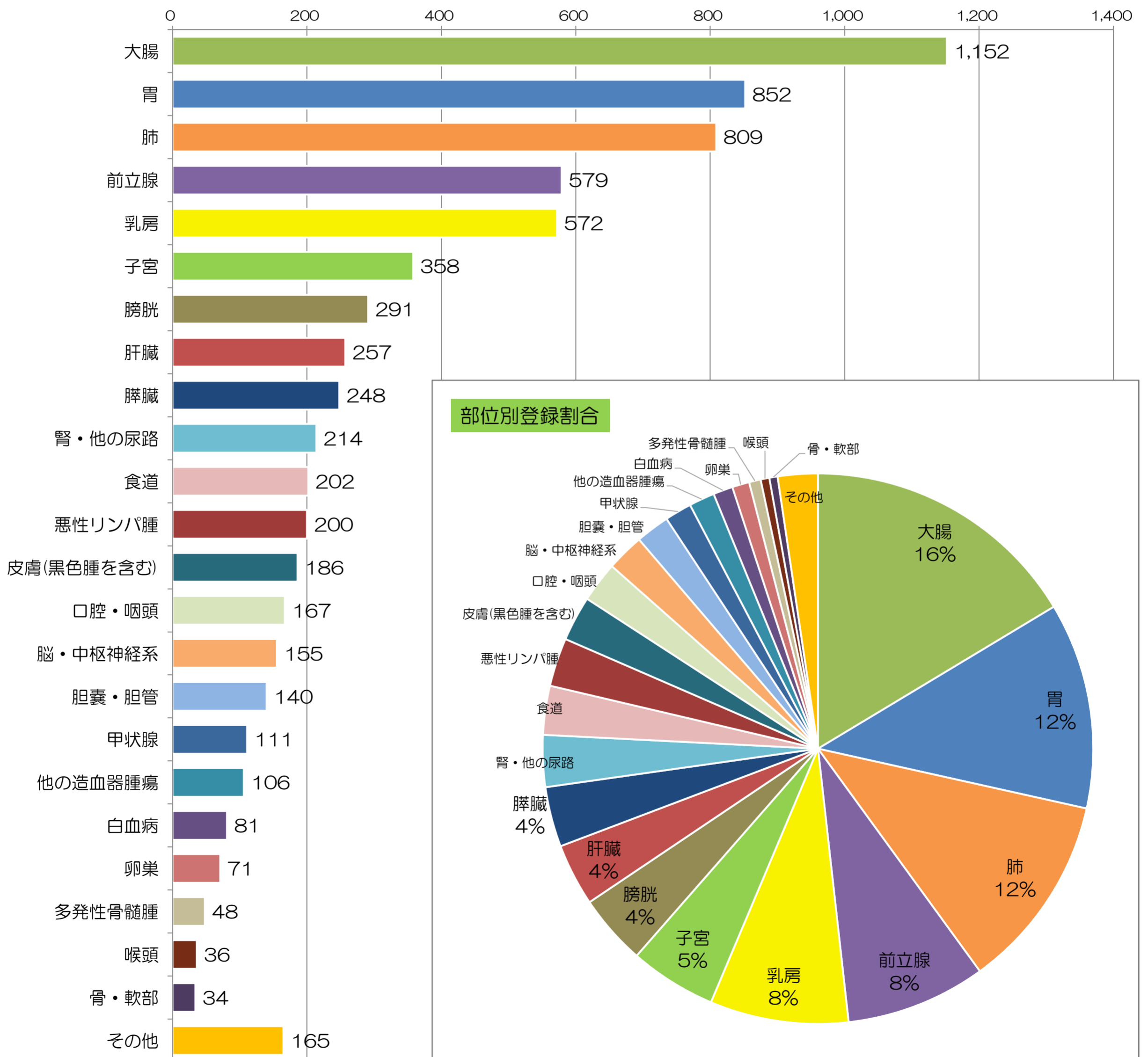
登録数は、男性は4,006件、女性は3,028件で合計は7,034件となる。

部位別には、男性では、大腸が最も多く677件、次いで前立腺が579件、胃が577件、肺が547件、膀胱230件、女性では、乳房が最も多く571件、次いで大腸が475件、子宮が358件、胃が275件、肺が262件の順となる。

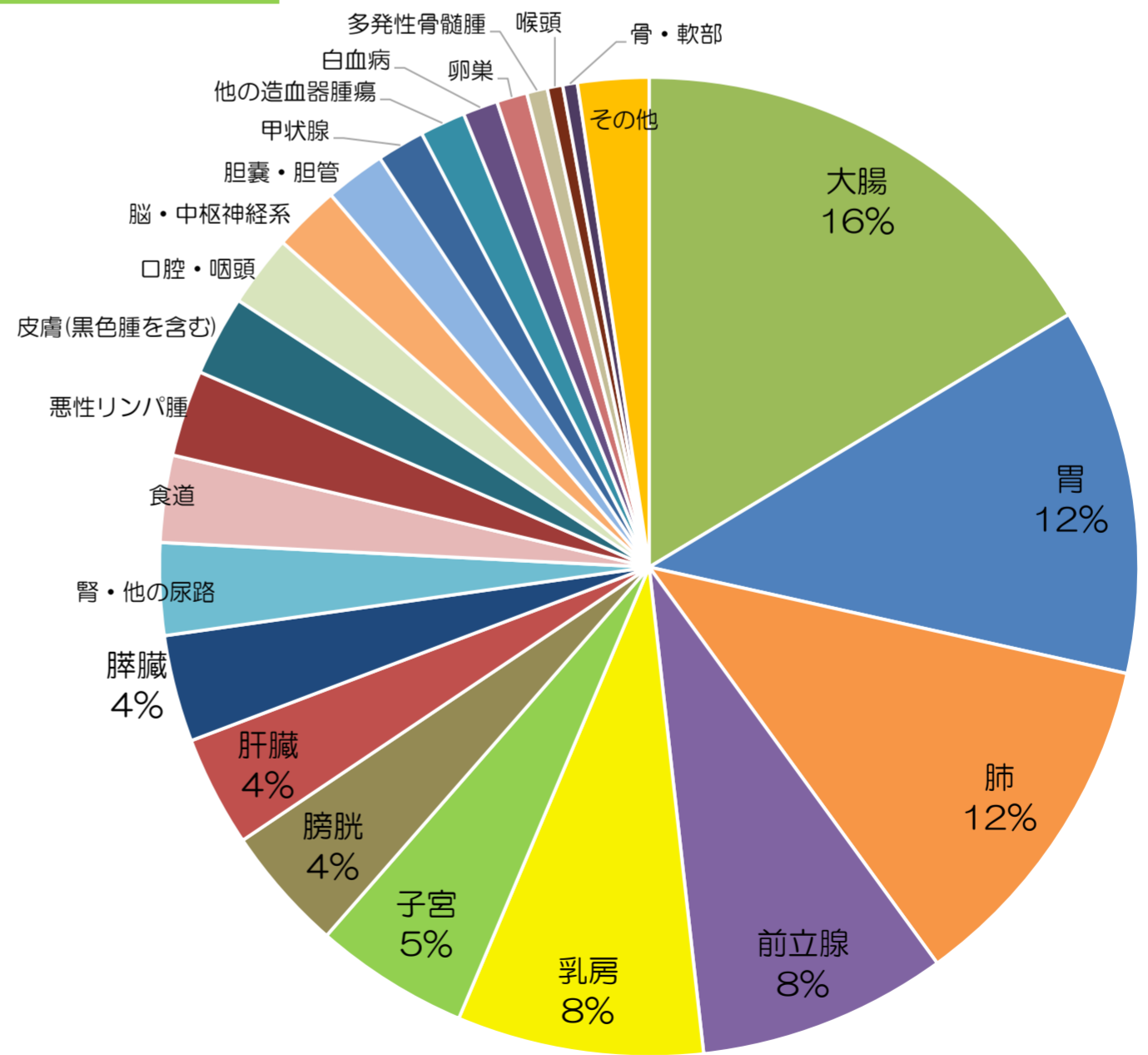
男女別割合は、男性が57%、女性が43%で、脳・中枢神経系、甲状腺、膵臓以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく6倍、次いで膀胱が3倍、口腔・咽頭、胃、肝臓、肺、腎・他の尿路などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	114	174	577	677	182	78	120	35	547	24	102	(1-3)	-	-	579	230	144	60	34	116	17	47	65	83	4,006
女性	53	28	275	475	75	62	128	(1-3)	262	10	84	571	358	71	-	61	70	95	77	84	31	34	41	82	3,028
合計	167	202	852	1,152	257	140	248	36	809	34	186	572	358	71	579	291	214	155	111	200	48	81	106	165	7,034

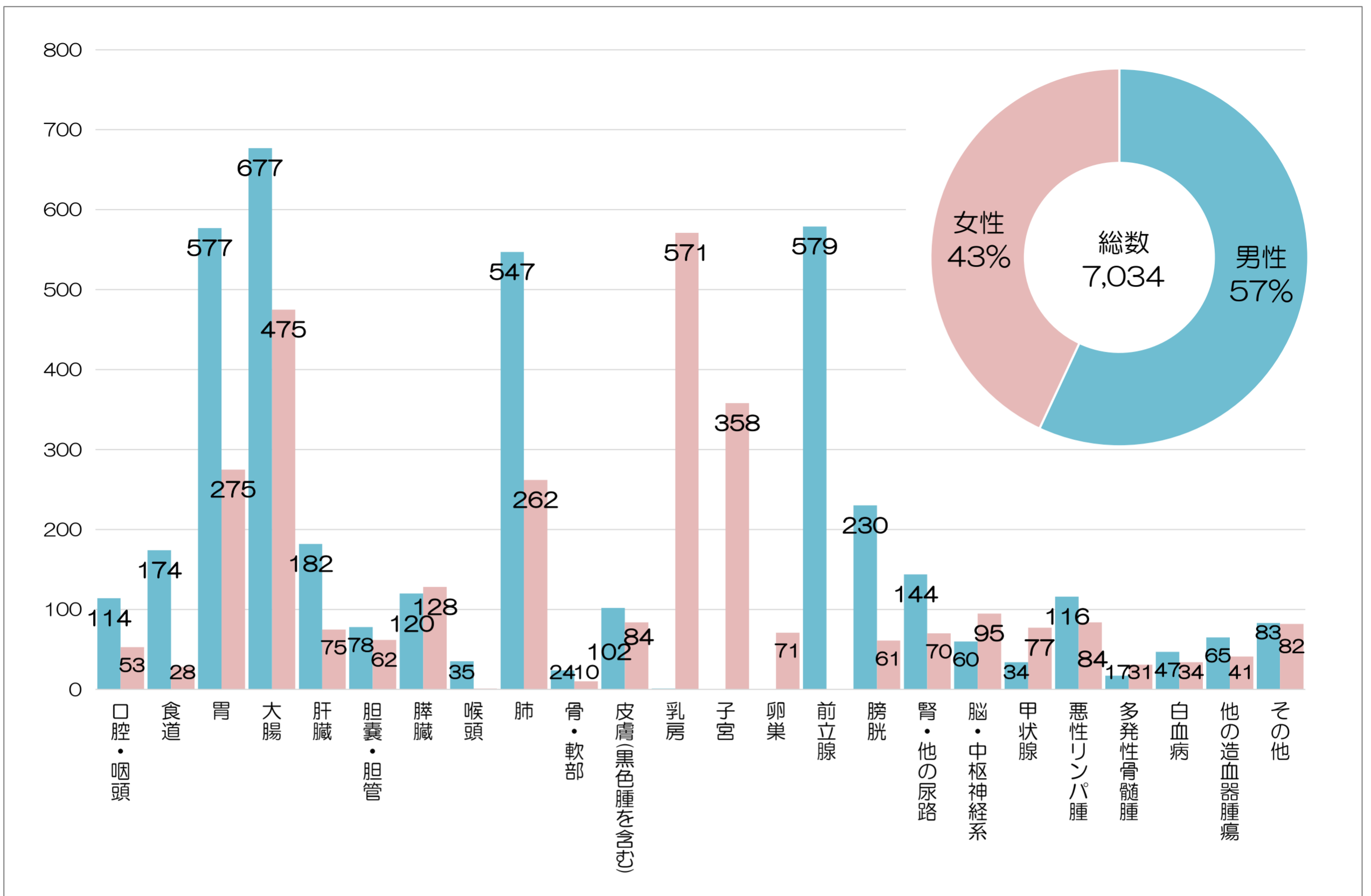
部位別登録数



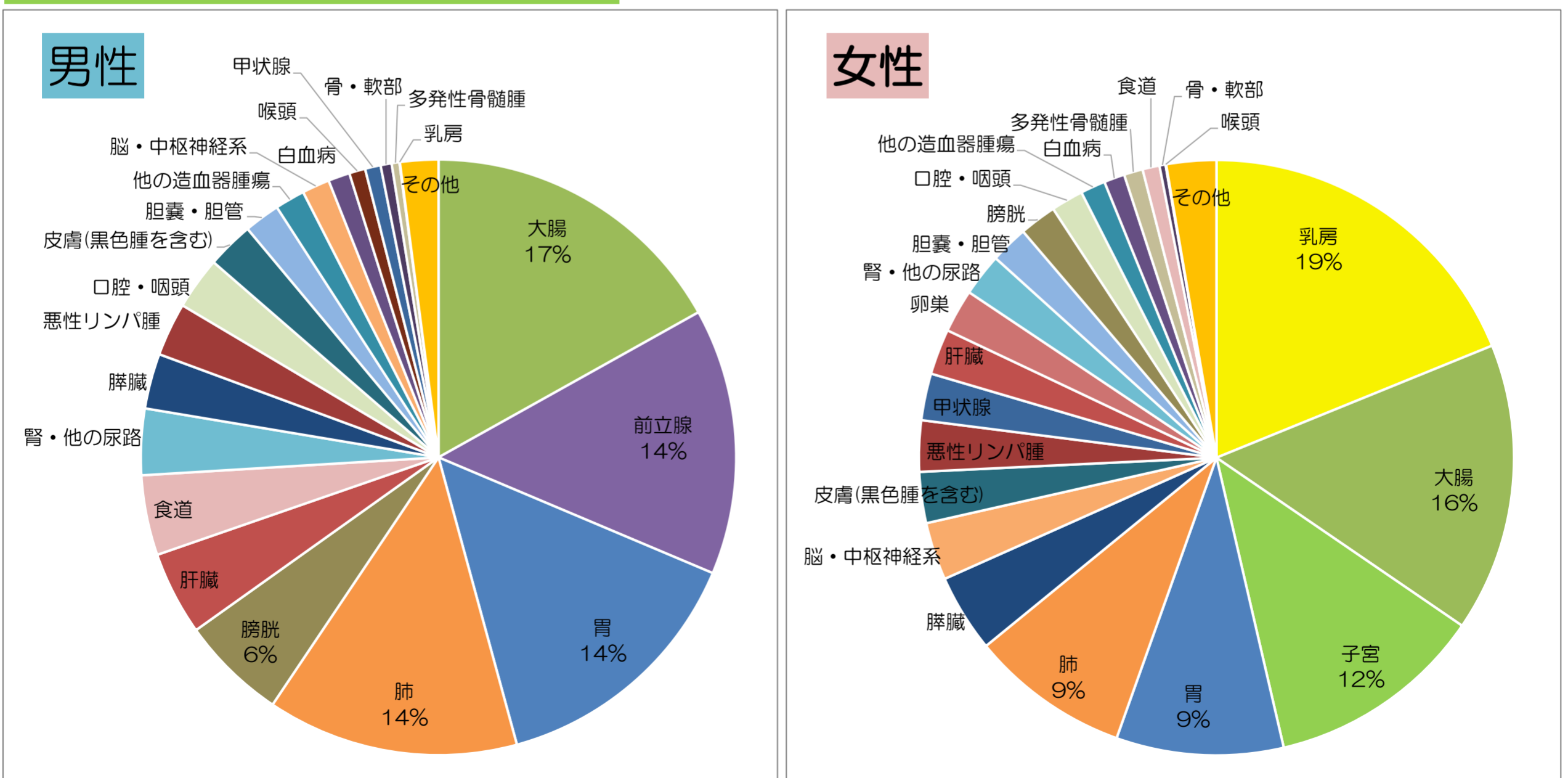
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】 <2018年>



部位別登録割合【男女別】 <2018年>

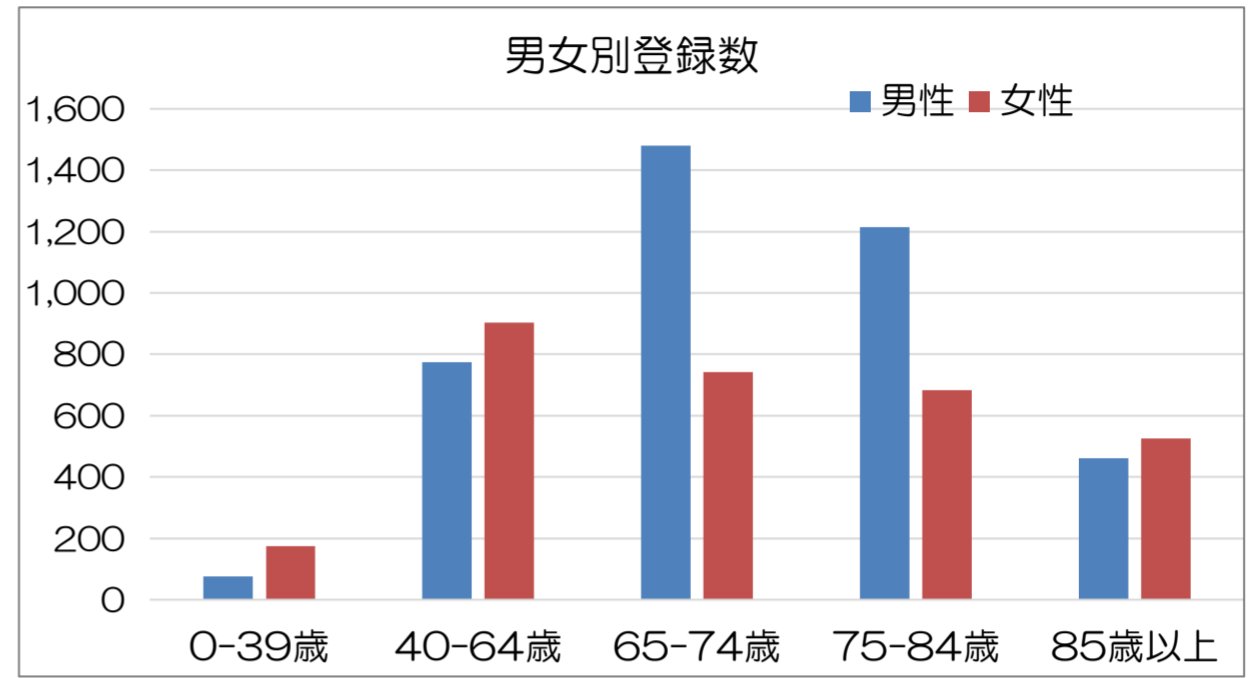


登録数—年齢階級別【男女別】〈2018年〉

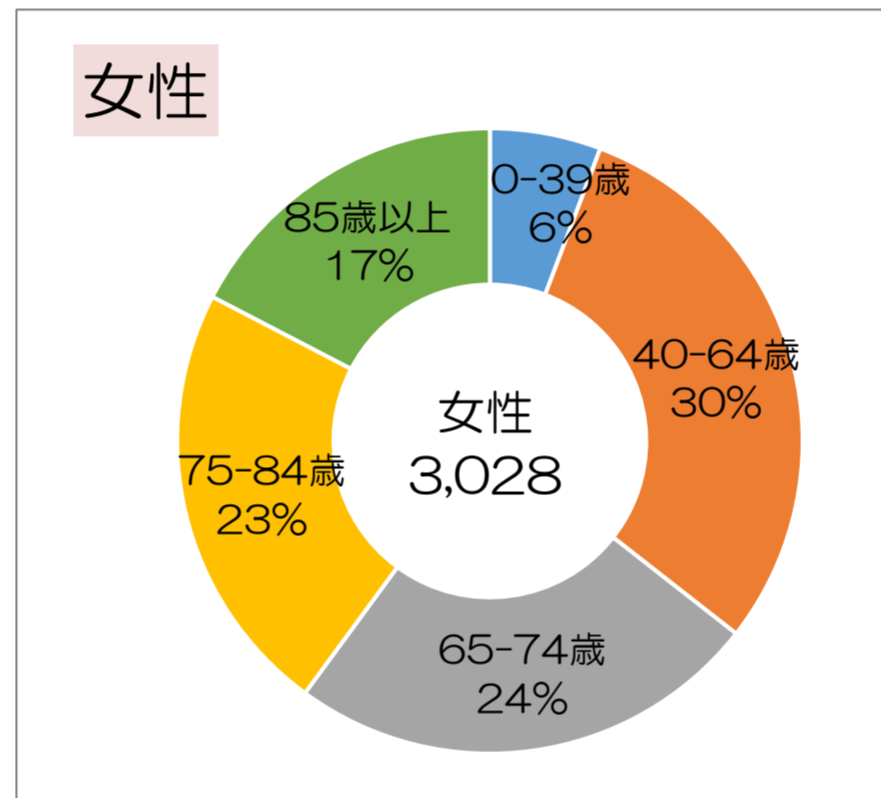
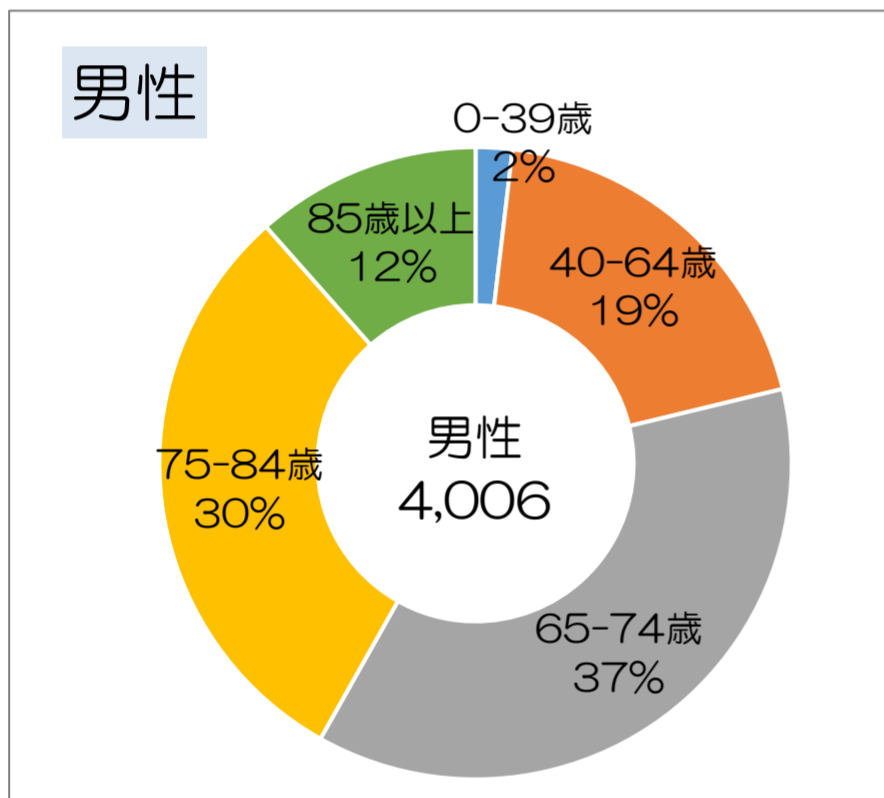
年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで65-74歳、75-84歳の順に多い。男女とも、65歳以上の高齢者で70%を占める。

部位別には、0-39歳の男性では、多い順に脳・中枢神経系、白血病、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、前立腺、大腸、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、前立腺、大腸、胃、女性では、大腸、胃、乳房、85歳以上では、男性は肺、女性は大腸である。

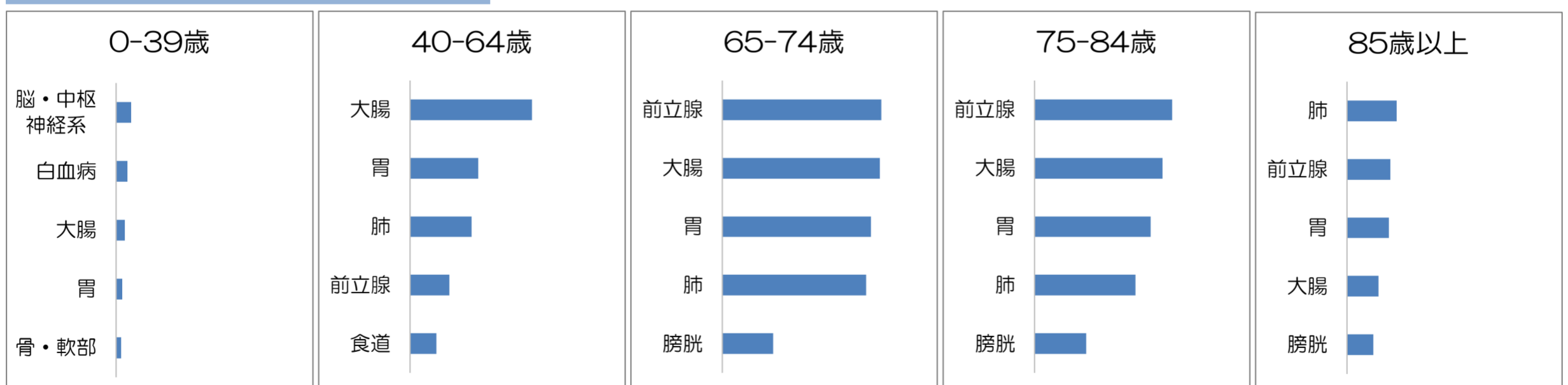
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	75	174	249
40-64歳	775	903	1,678
65-74歳	1,480	742	2,222
75-84歳	1,214	683	1,897
85歳以上	462	526	988
合計	4,006	3,028	7,034



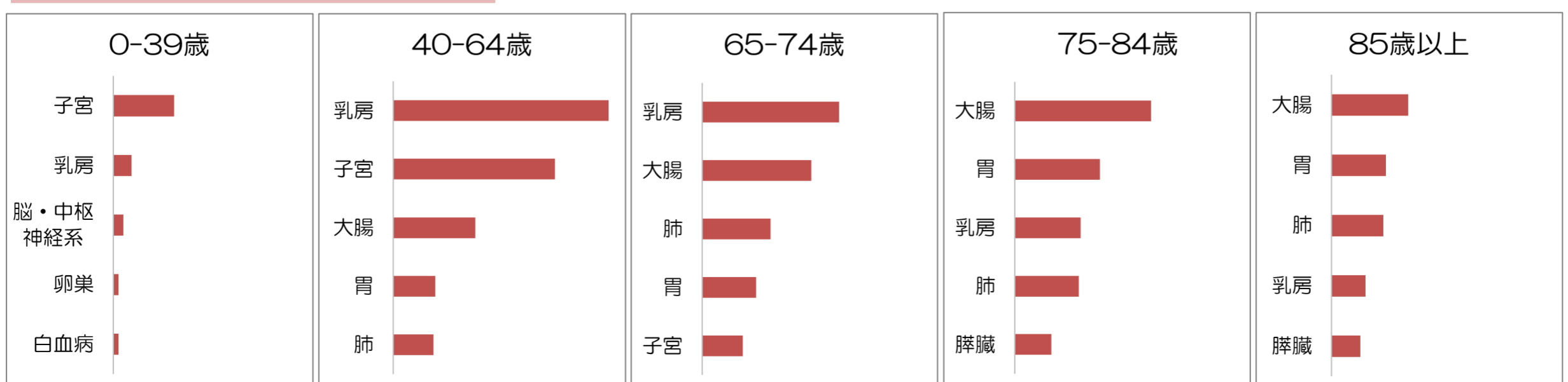
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



年齢階級別登録数の上位5部位—女性



来院経路別登録数 <2018年>

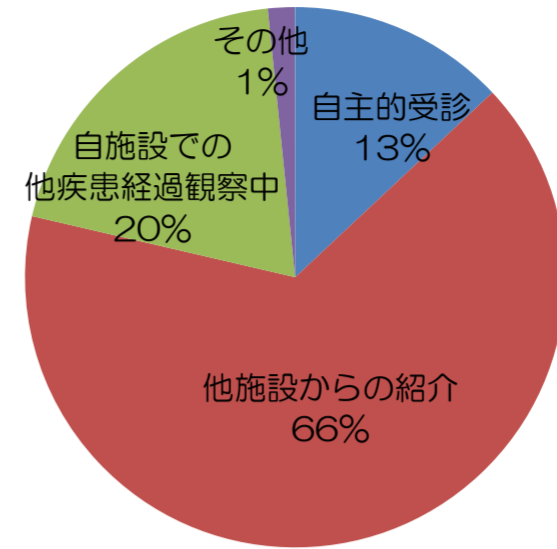
来院経路別には、「他施設からの紹介」が66%を占めて最も多く、次いで「自施設で他疾患経過観察中」が20%、「自主的受診」は13%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。

施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。

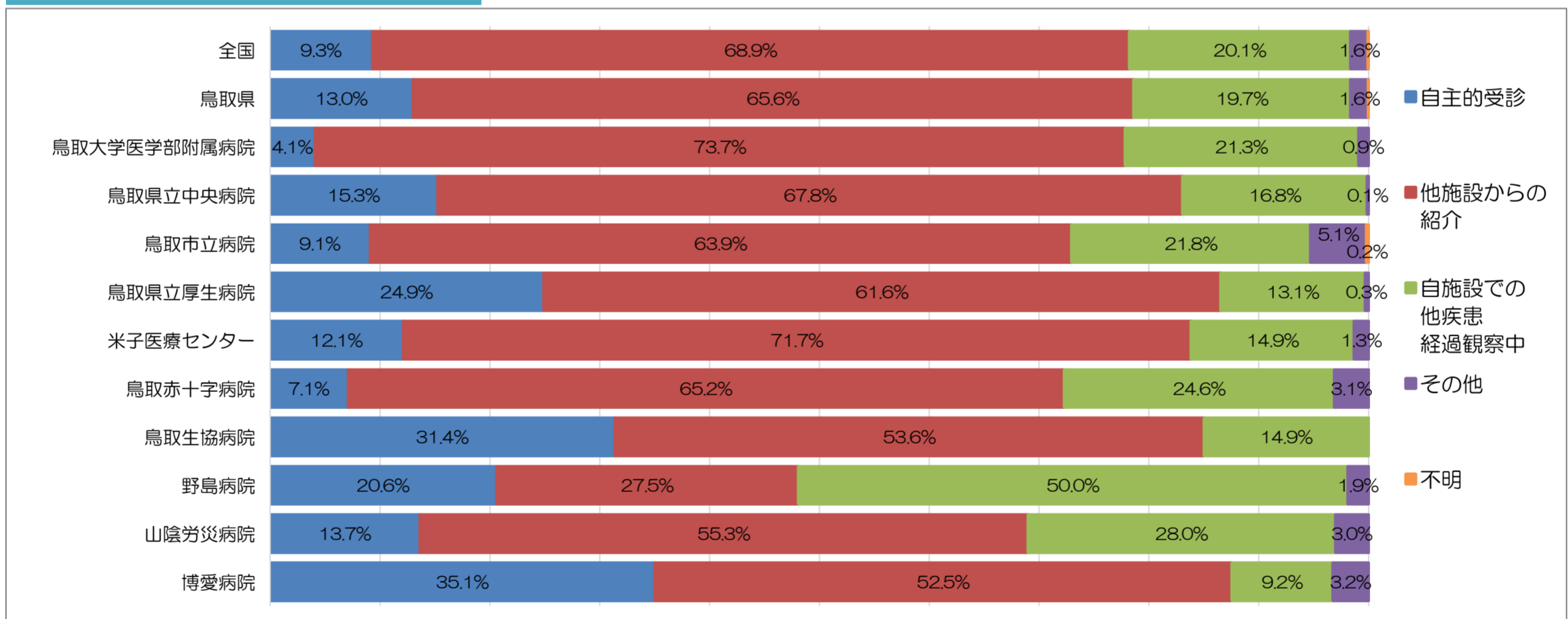
部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

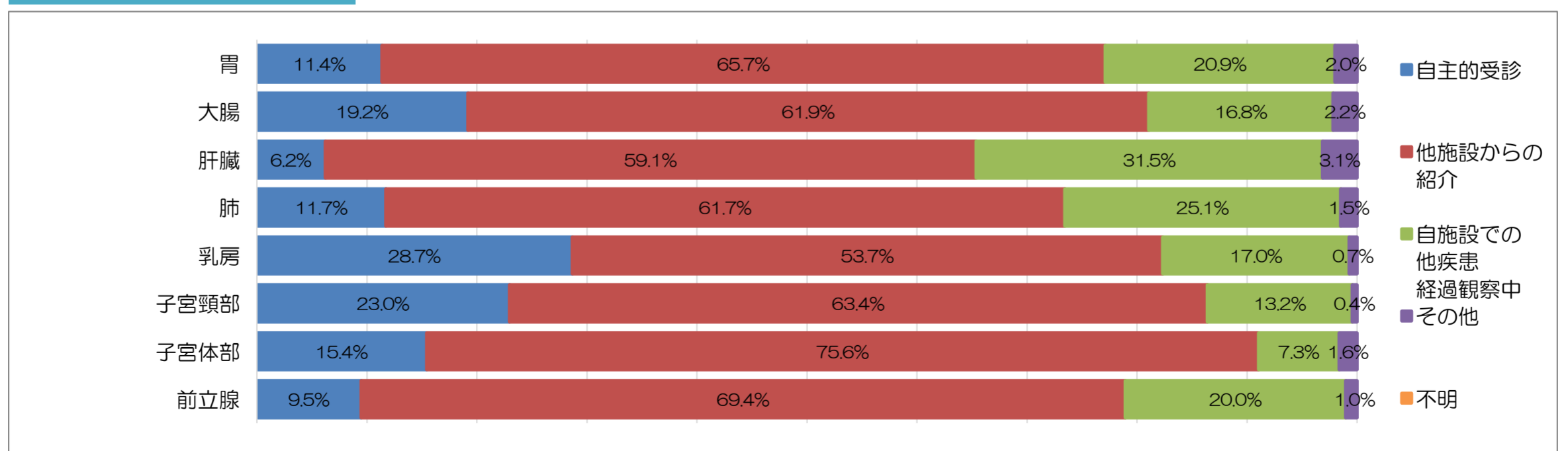


	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国	94,495	698,195	203,801	16,102	360	1,012,953
鳥取県	916	4,615	1,389	113	(1-3)	7,034
鳥取大学医学部附属病院	83	1,484	428	18	-	2,013
鳥取県立中央病院	151	670	166	(1-3)	-	988
鳥取市立病院	52	364	124	29	(1-3)	570
鳥取県立厚生病院	163	403	86	(1-3)	-	654
米子医療センター	94	555	115	10	-	774
鳥取赤十字病院	53	485	183	23	-	744
鳥取生協病院	82	140	39	-	-	261
野島病院	33	44	80	(1-3)	-	160
山陰労災病院	64	259	131	14	-	468
博愛病院	141	211	37	13	-	402

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



来院経路別登録割合（主要部位）



発見経路別登録数 <2018年>

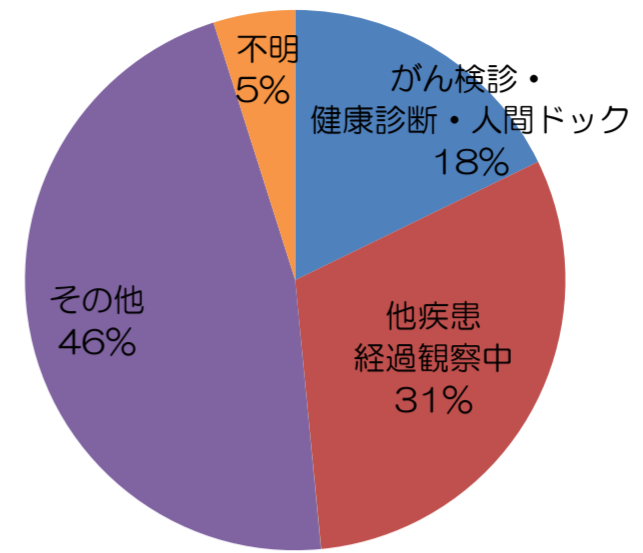
発見経緯別には、「他疾患の経過観察中」が31%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は18%と少ない。

なお、「その他」が46%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は鳥取県が全国より2%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

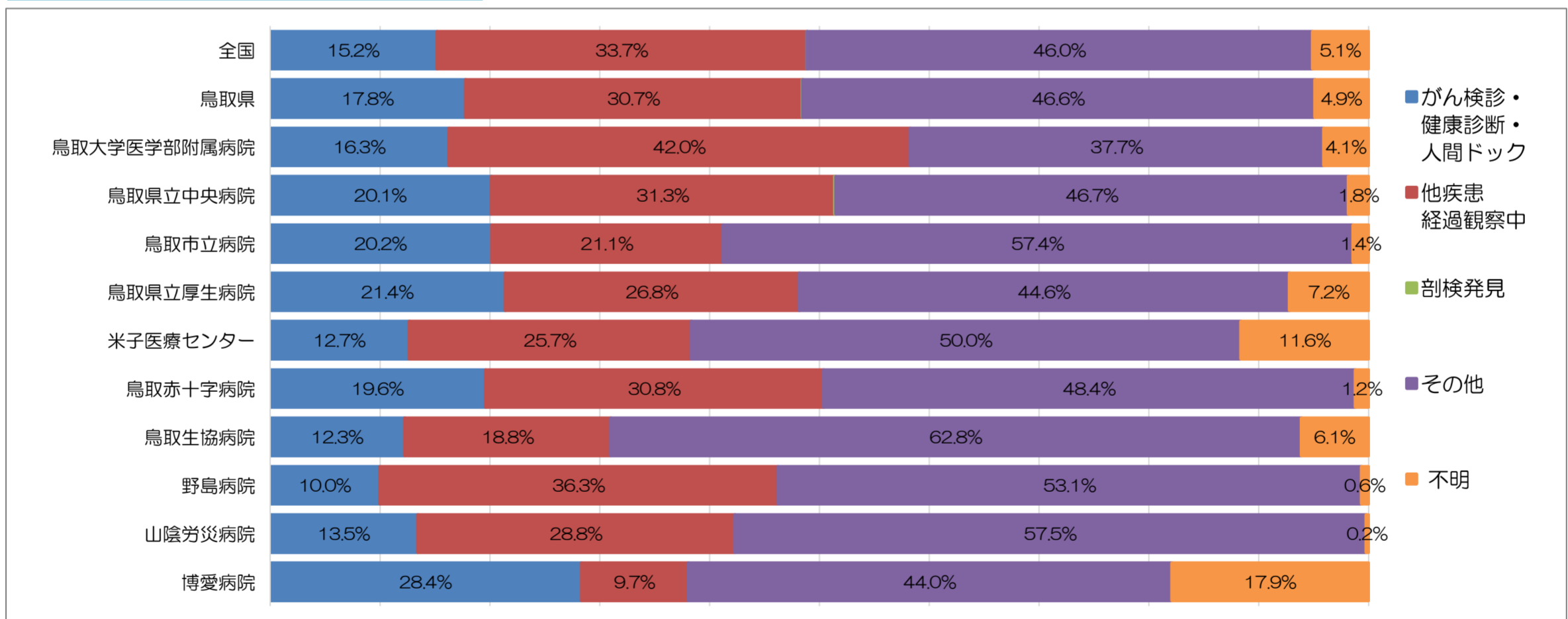
部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部、胃、大腸、乳房、前立腺の順で多く、「他疾患の経過観察中」は肝臓が59.1%と最も多い。

発見経路別登録割合（鳥取県）

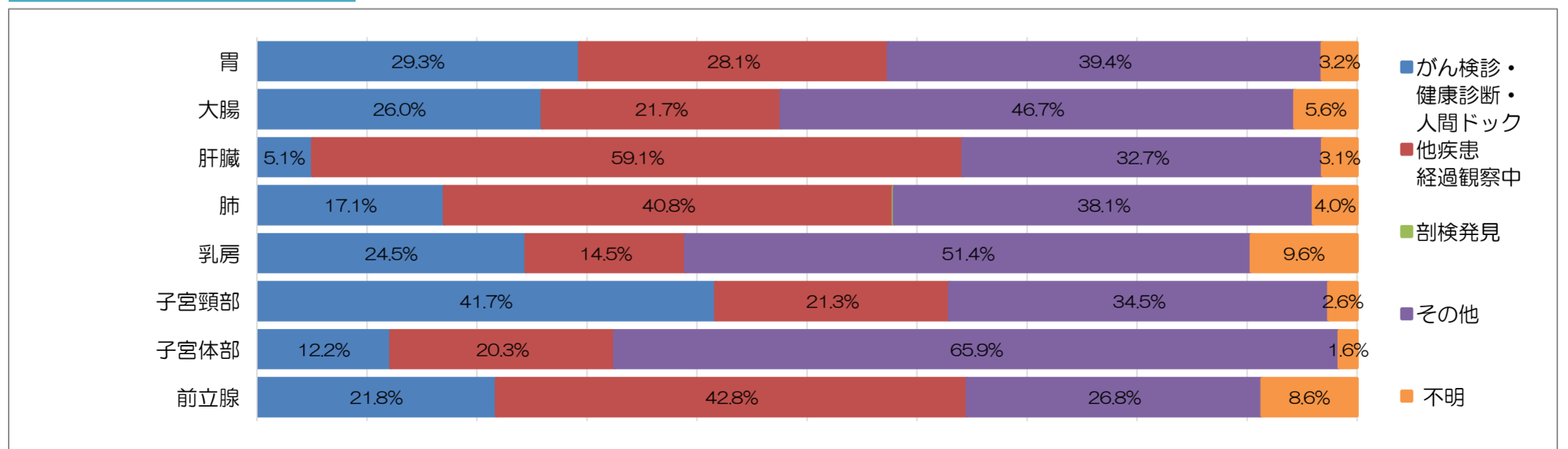


	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	合計
全国	153,988	341,071	92	466,132	51,670	1,012,953
鳥取県	1,251	2,158	(1-3)	3,280	344	7,034
鳥取大学医学部附属病院	328	845	-	758	82	2,013
鳥取県立中央病院	199	309	(1-3)	461	18	988
鳥取市立病院	115	120	-	327	(7-9)	570
鳥取県立厚生病院	140	175	-	292	47	654
米子医療センター	98	199	-	387	90	774
鳥取赤十字病院	146	229	-	360	(7-9)	744
鳥取生協病院	32	49	-	164	16	261
野島病院	16	58	-	85	(1-3)	160
山陰労災病院	63	135	-	269	(1-3)	468
博愛病院	114	39	-	177	72	402

発見経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



発見経路別登録割合（主要部位）



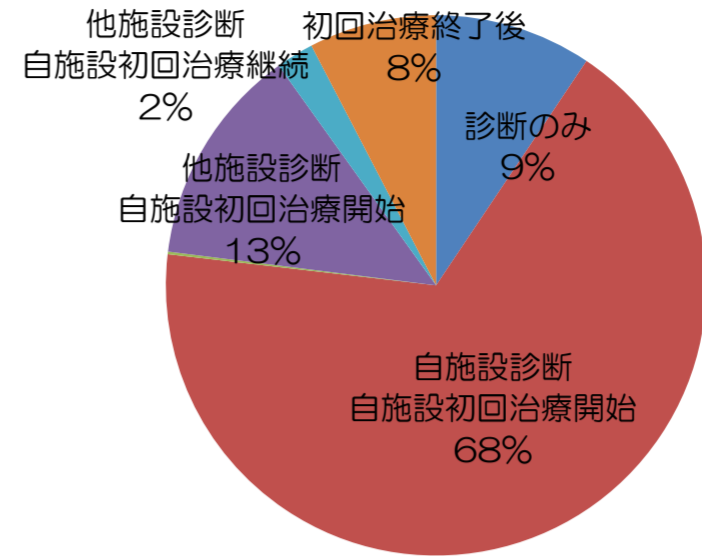
症例区分別登録数 <2018年>

症例区分別には、「診断のみ」は9%で、ほとんどは自施設で診断し、自施設で初回治療を行う「自施設診断自施設初回治療開始」(68%)であり、他施設で診断し、自施設で初回治療を行う「他施設診断自施設初回治療開始」は13%である。

全国比較では、鳥取県は「診断のみ」と「自施設診断自施設初回治療開始」が多く、「他施設診断自施設初回治療開始」と「初回治療終了後」の割合は少ない。

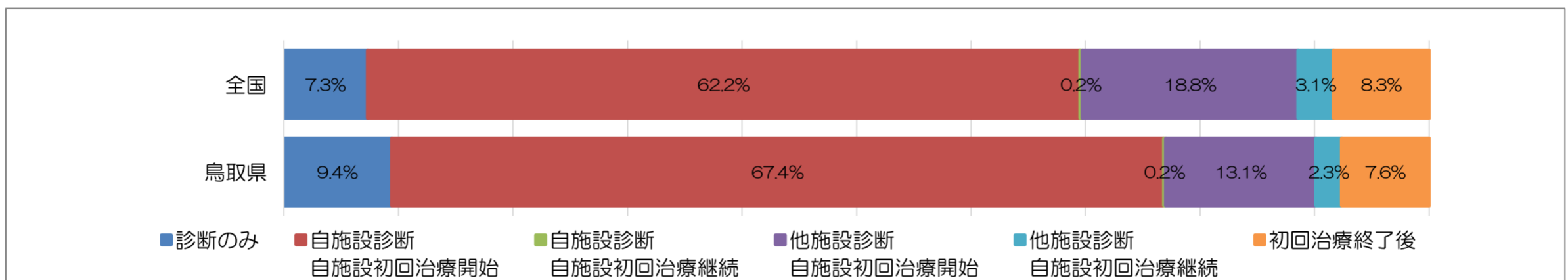
施設別には、「診断のみ」は山陰労災病院、博愛病院、野島病院など準拠点病院で高い。拠点病院では、特に鳥取大学医学部附属病院で「診断のみ」が2.8%で最も低く、「他施設診断自施設初回治療開始」は24.4%で最も高い。他方、「初回治療終了後」は、鳥取生協病院の23.4%、博愛病院の21.1%、米子医療センターの20.0%が顕著に高い。

症例区分別登録割合 (鳥取県)

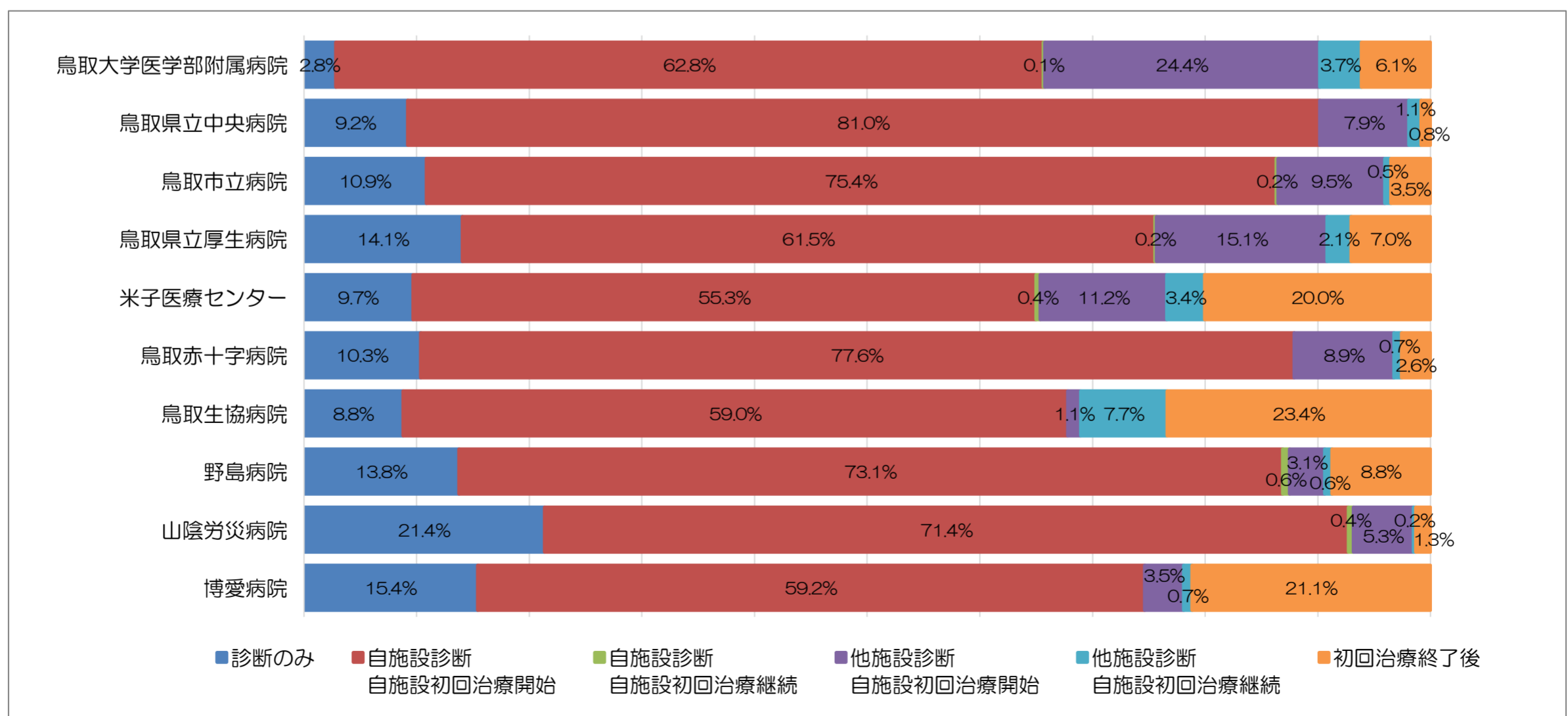


	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国	73,966	630,276	1,868	190,803	31,662	84,378	1,012,953
鳥取県	661	4,744	11	922	159	537	7,034
鳥取大学医学部附属病院	57	1,264	(1-3)	491	75	123	2,013
鳥取県立中央病院	91	800	-	78	11	(7-9)	988
鳥取市立病院	62	430	(1-3)	54	(1-3)	20	570
鳥取県立厚生病院	92	402	(1-3)	99	14	46	654
米子医療センター	75	428	(1-3)	87	26	155	774
鳥取赤十字病院	77	577	-	66	(4-6)	19	744
鳥取生協病院	23	154	-	(1-3)	20	61	261
野島病院	22	117	(1-3)	(4-6)	(1-3)	14	160
山陰労災病院	100	334	(1-3)	25	(1-3)	(4-6)	468
博愛病院	62	238	-	14	(1-3)	85	402

症例区分別登録割合 (全国・鳥取県)



症例区分別登録割合 (施設別)



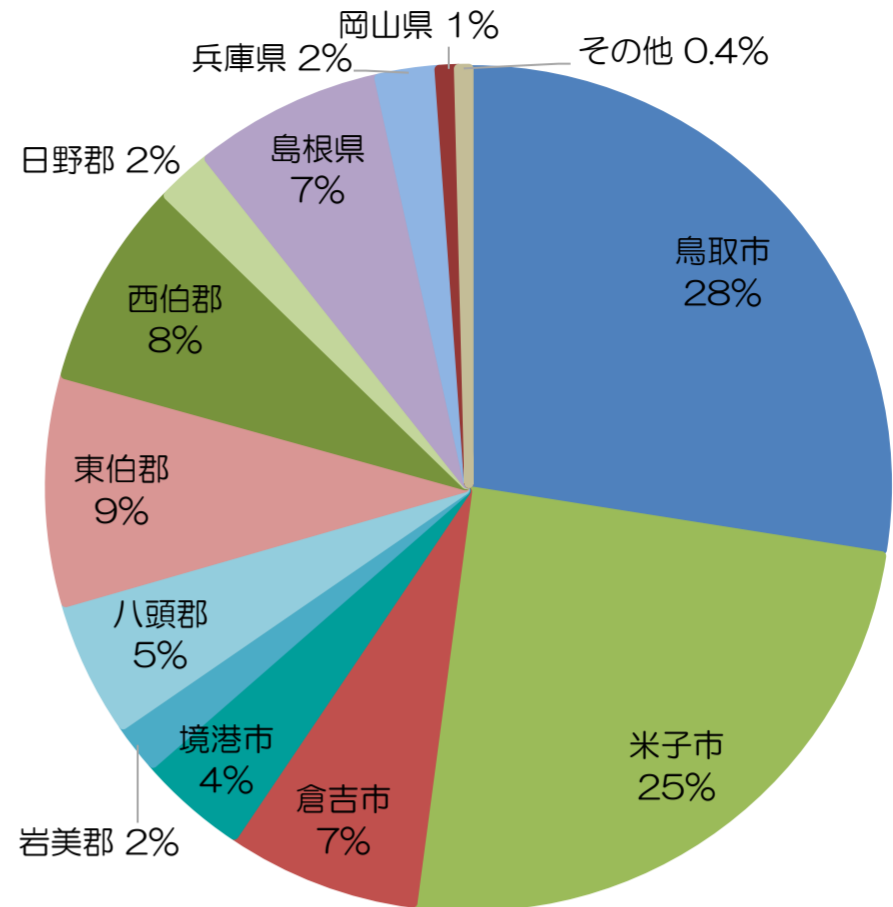
診断時住所別登録数 <2018年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く28%、次いで米子市の25%で、両市で半数の53%を占める。東伯郡が9%、西伯郡の8%、倉吉市の7%、八頭郡の5%、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が2%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の988件、次いで鳥取赤十字病院の744件、鳥取市立病院の570件、鳥取生協病院の261件である。中部では、鳥取県立厚生病院の654件、野島病院の160件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の2,013件が最も多く、次いで米子医療センターの774件、山陰労災病院の468件、博愛病院の402件である。

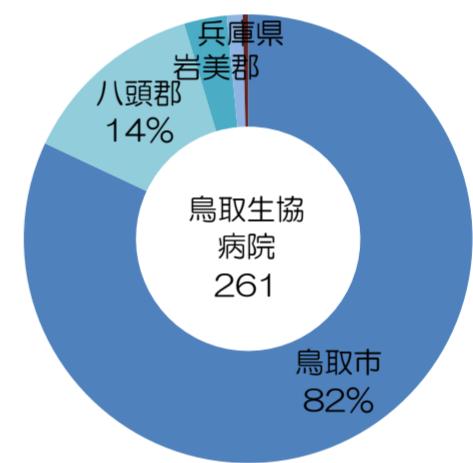
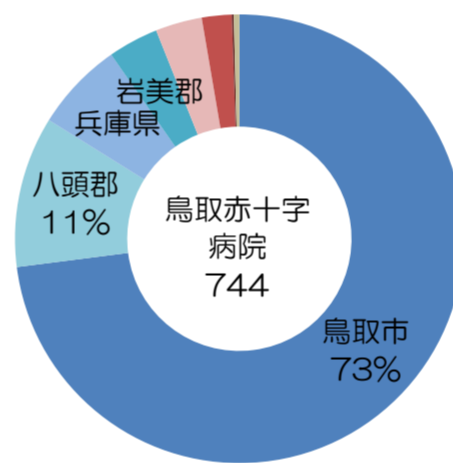
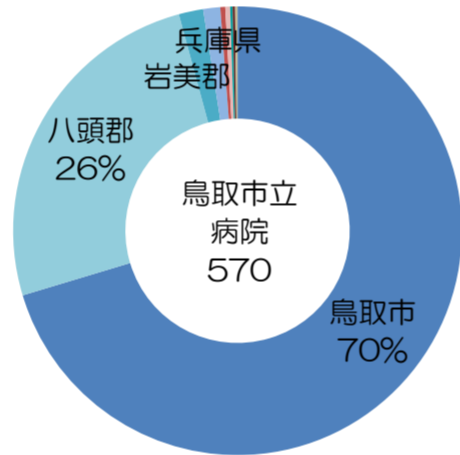
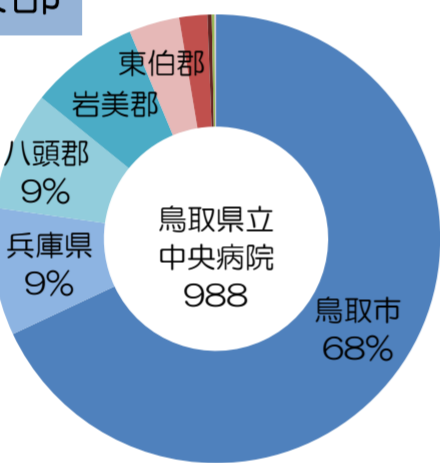
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県が19%、東伯郡、倉吉市、鳥取市など地域外からの患者がほぼ40%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

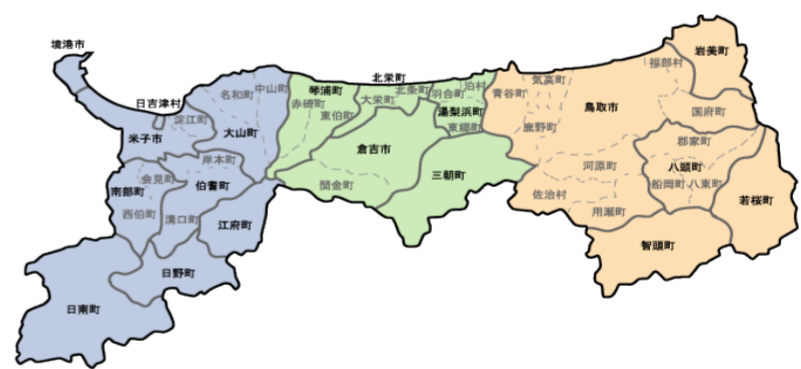
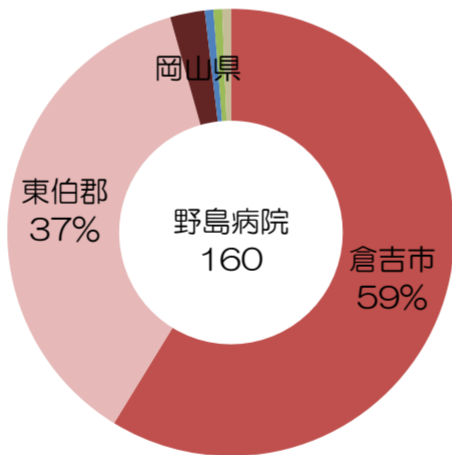
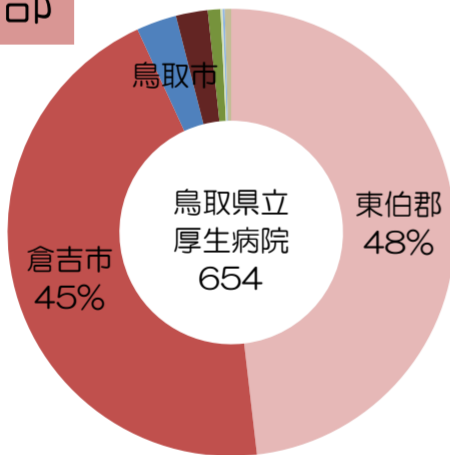


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
1,934	1,731	516	291	129	361	617	559	145	508	163	52	28	7,034

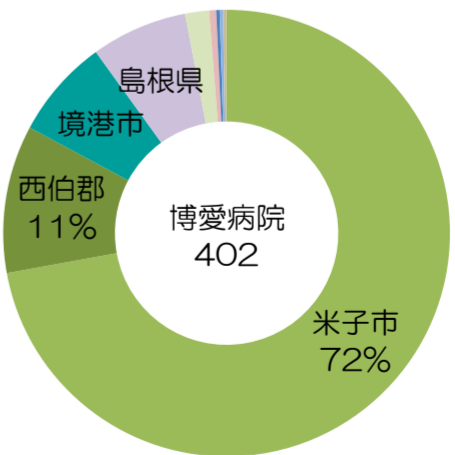
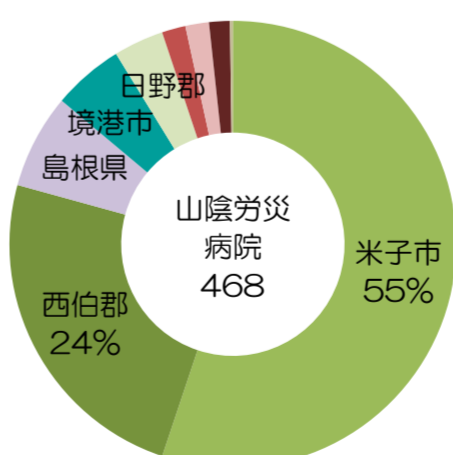
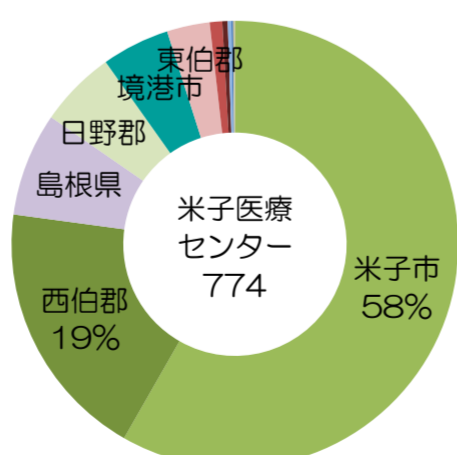
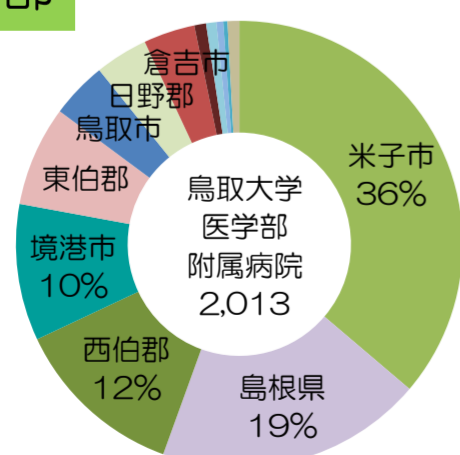
東部



中部



西部

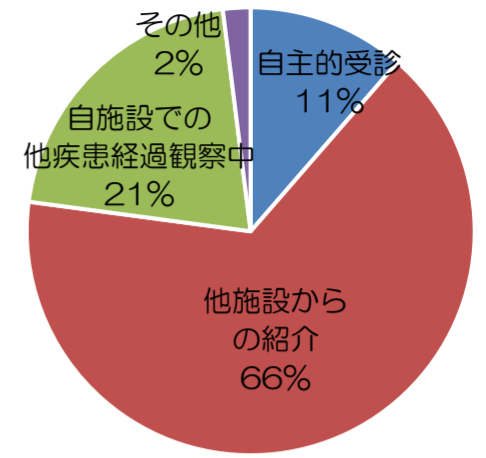


■鳥取市 ■米子市 ■倉吉市 ■境港市 ■岩美郡 ■八頭郡 ■東伯郡 ■西伯郡 ■日野郡 ■島根県 ■兵庫県 ■岡山県 ■その他

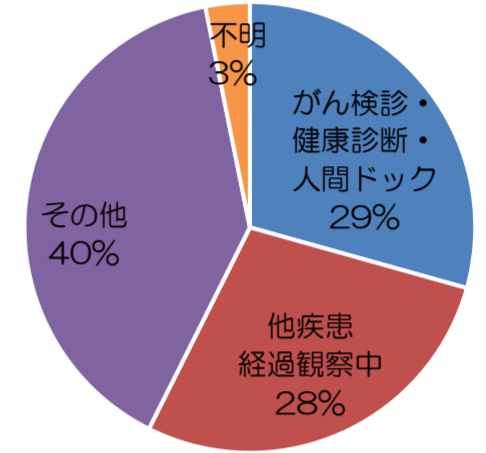
一胃(2018)

胃がんは、男性577件、女性275件で総数は852件、男性が女性の2.1倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに6割強を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

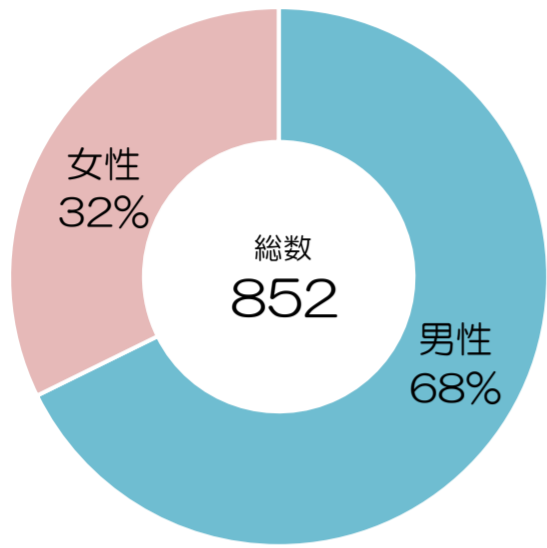
来院経路



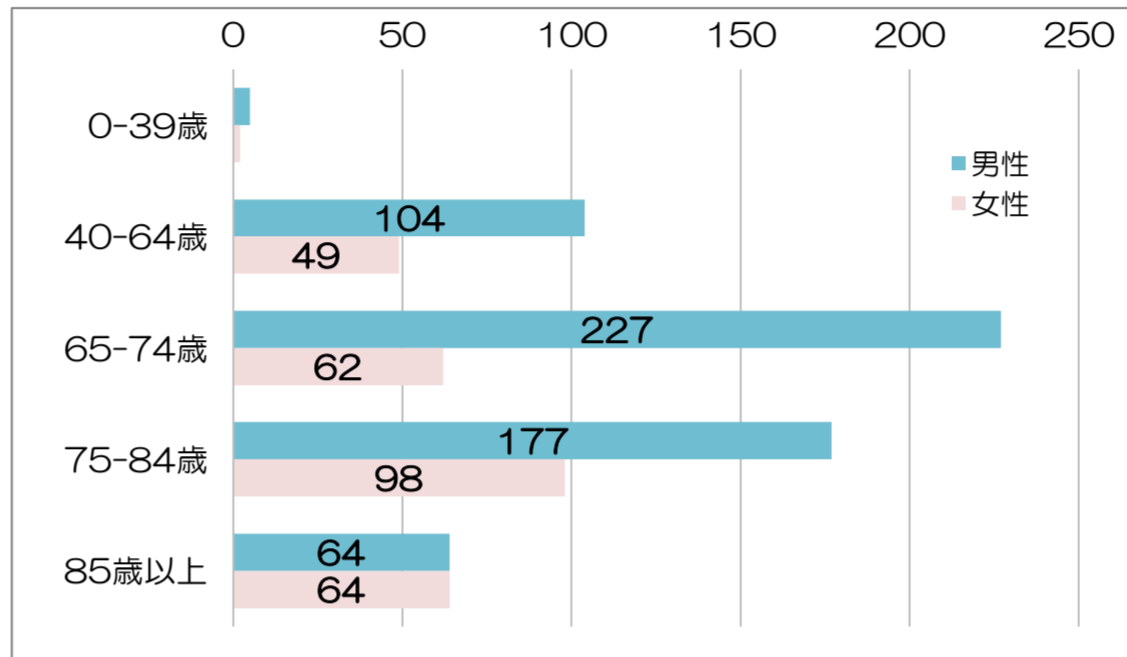
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

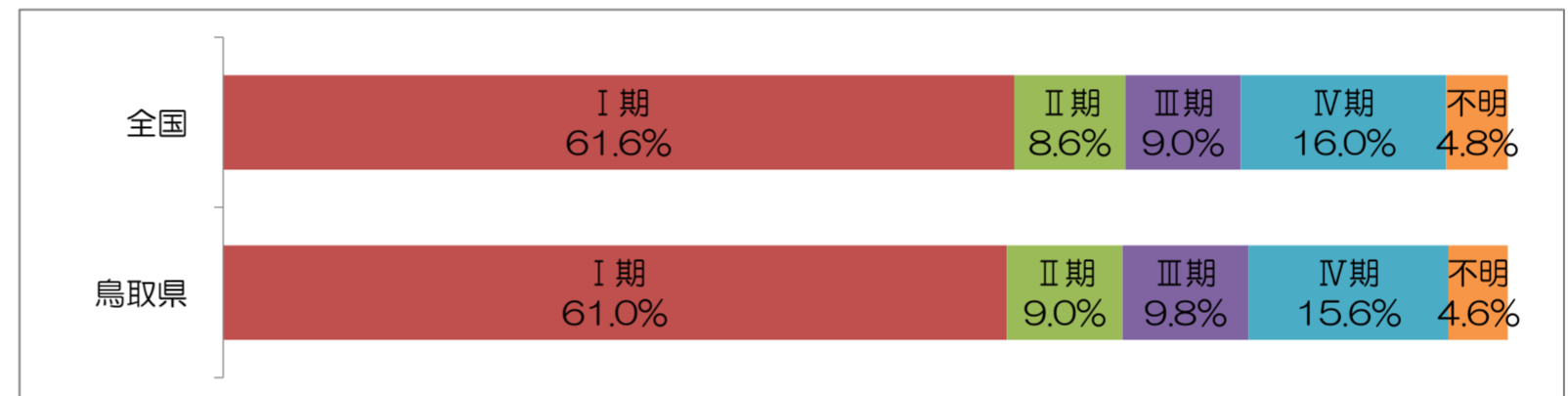


治療前ステージ別登録数

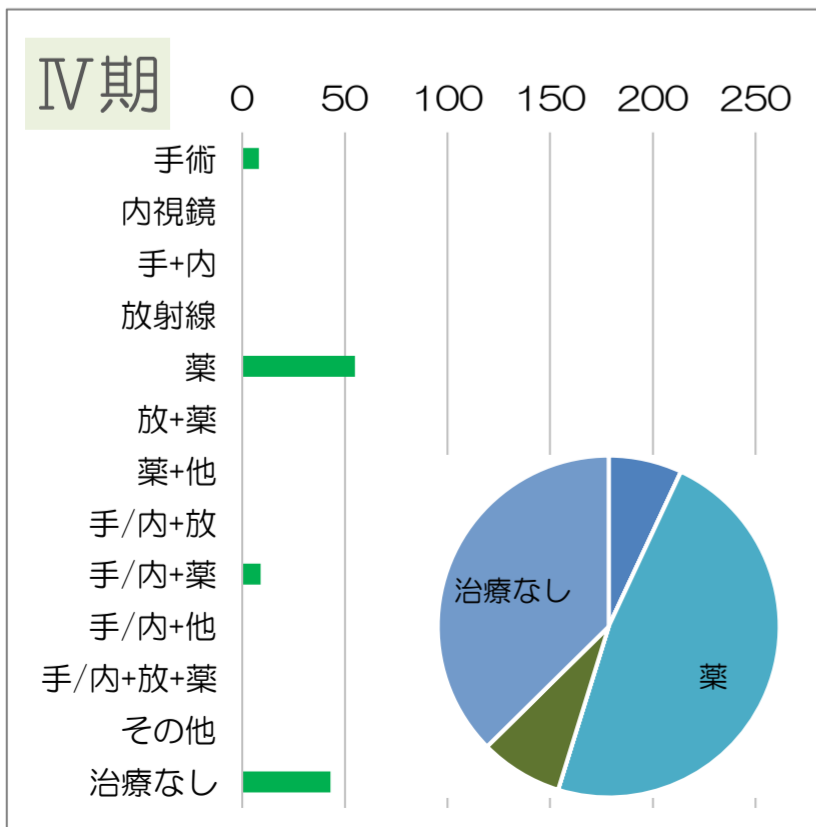
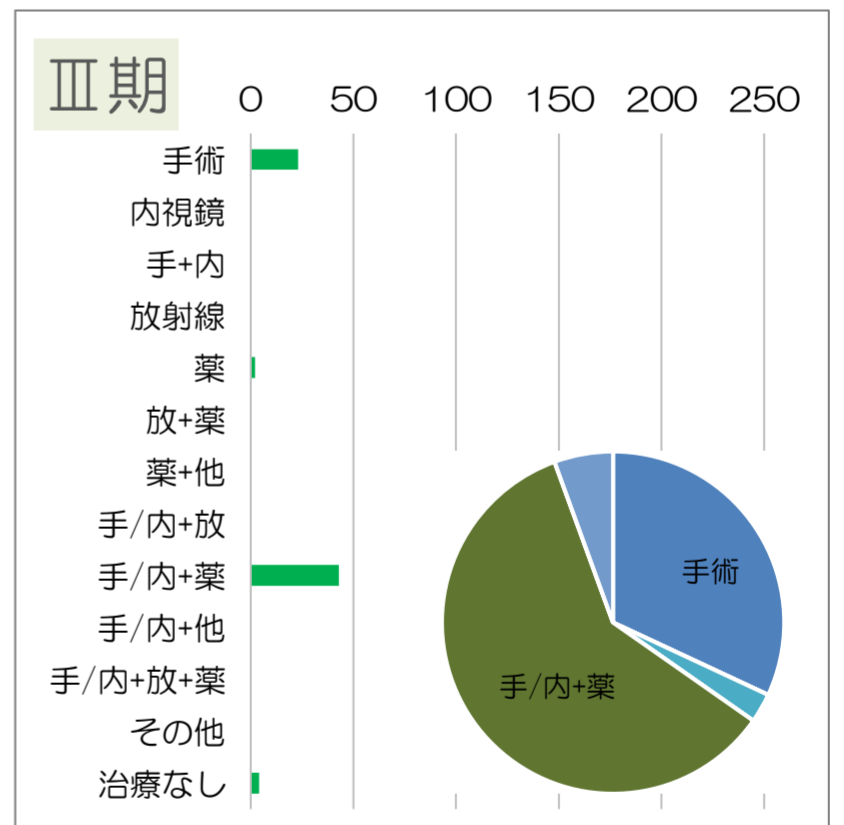
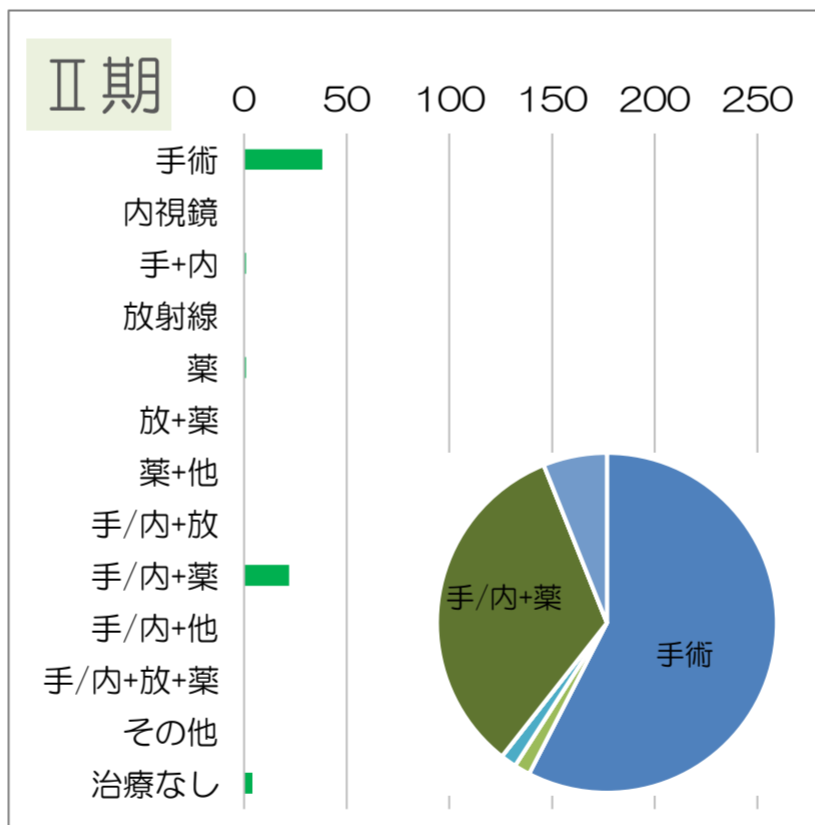
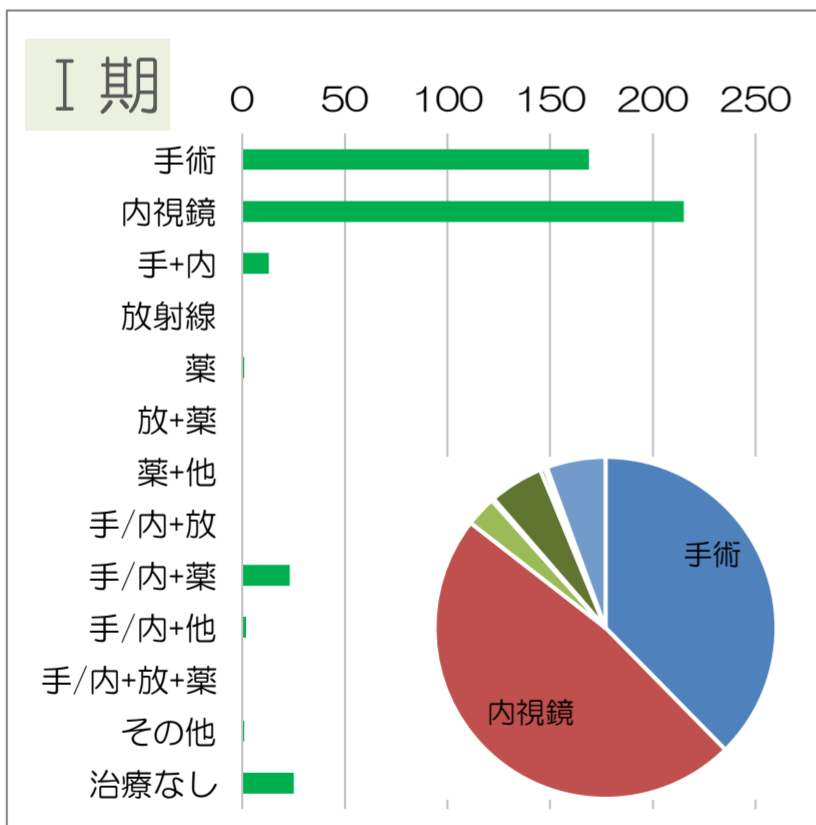
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
465	80	60	102	22	729

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



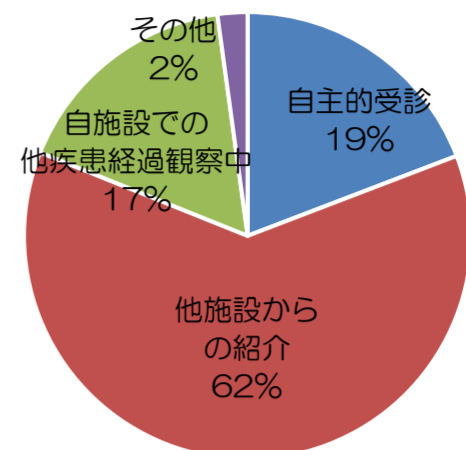
ステージ別治療方法



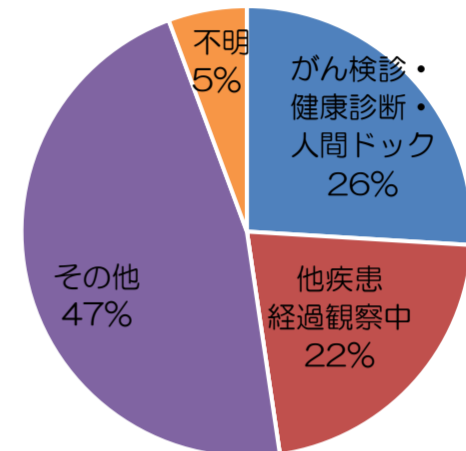
一大腸(2018)

大腸がんは、男性677件、女性475件で総数は1,152件、男性が女性の約1.4倍を示す。年齢階級別には、65歳以上が男性では7割強、女性では8割弱を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。ステージ別には、I期が最も多く、0期は全国が多いが、I期～IV期はすべて鳥取県が多い。ステージ別の治療方法は、0期では「内視鏡」、I期～III期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、IV期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」、「手術」が大半を占めるようになる。

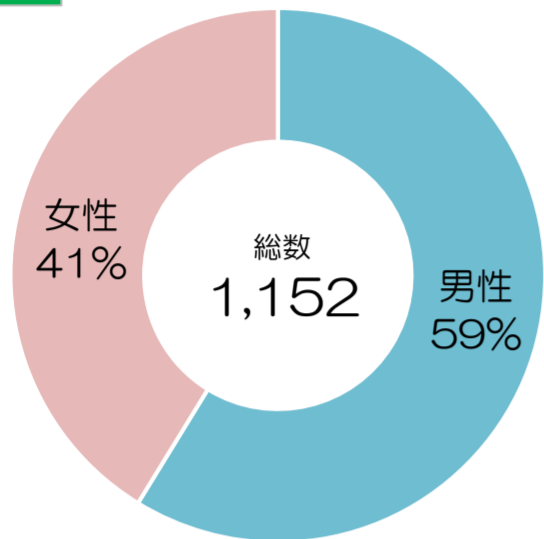
来院経路



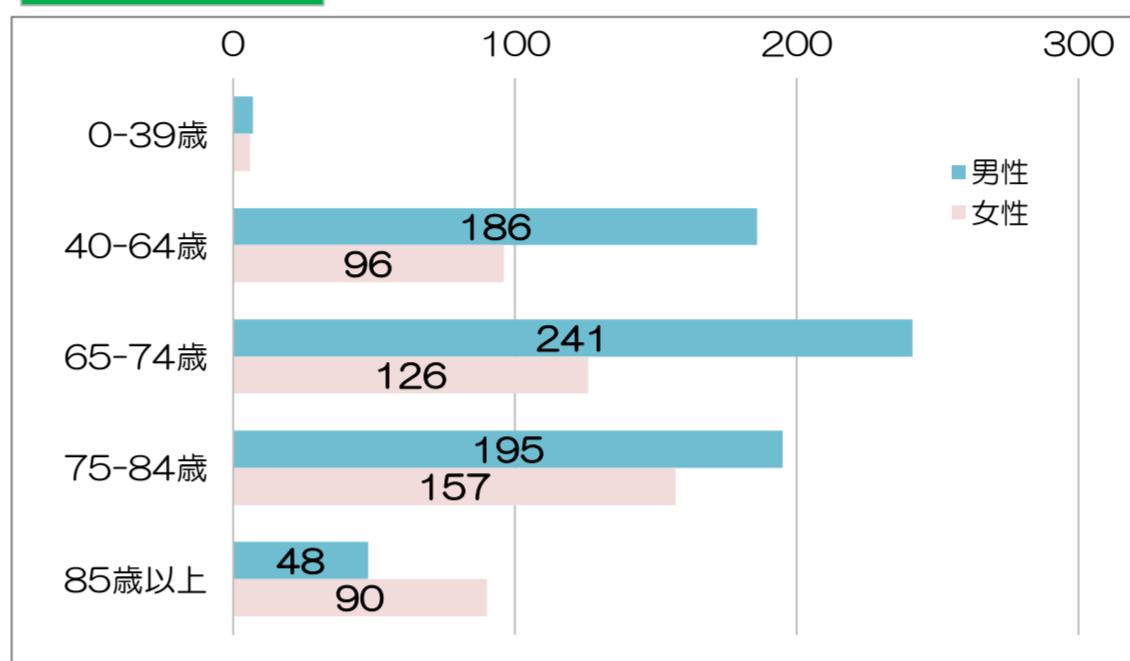
発見経緯



男女比



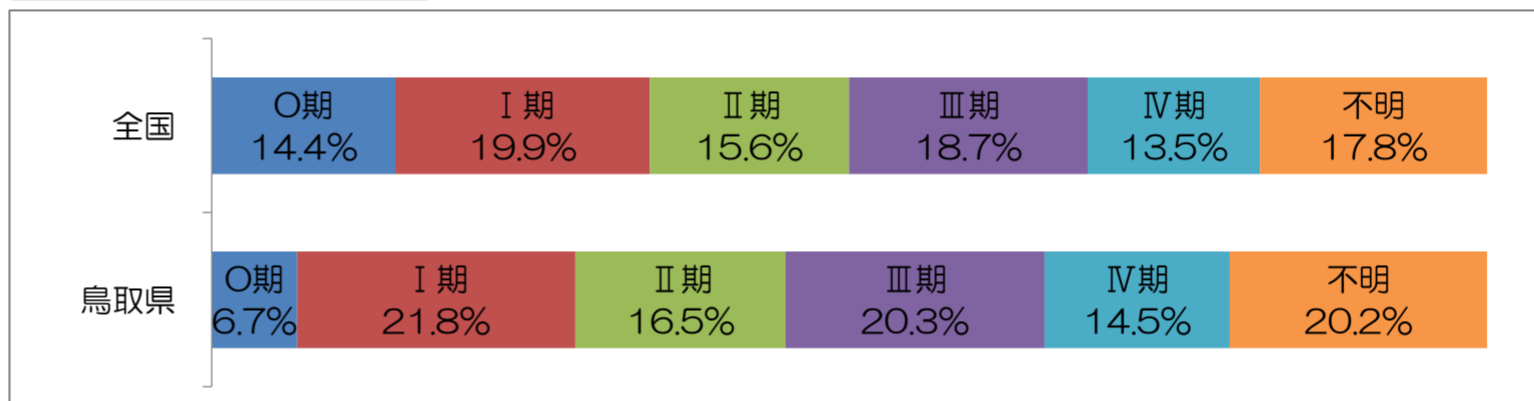
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

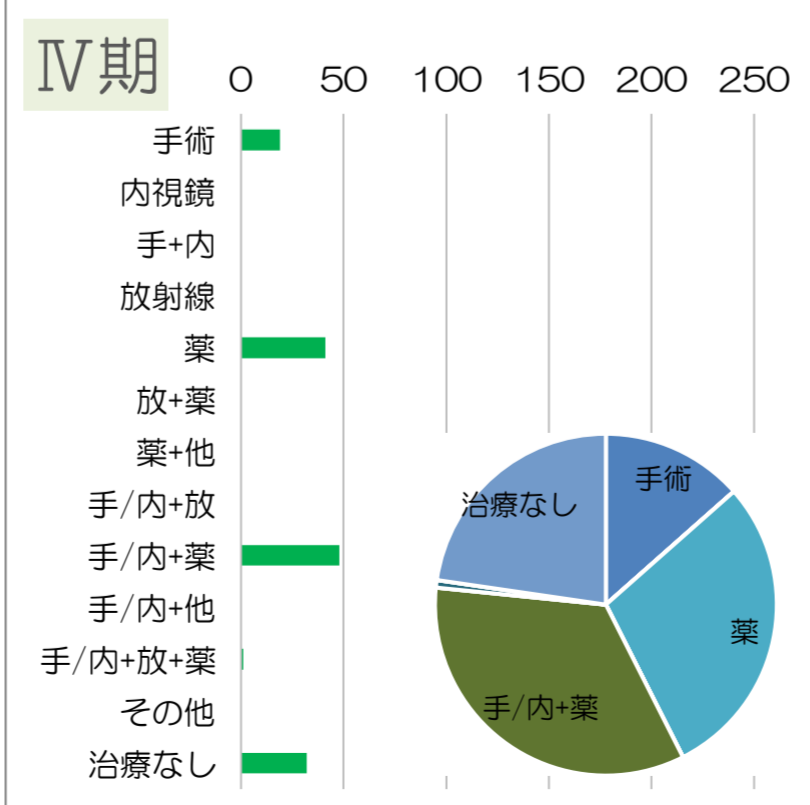
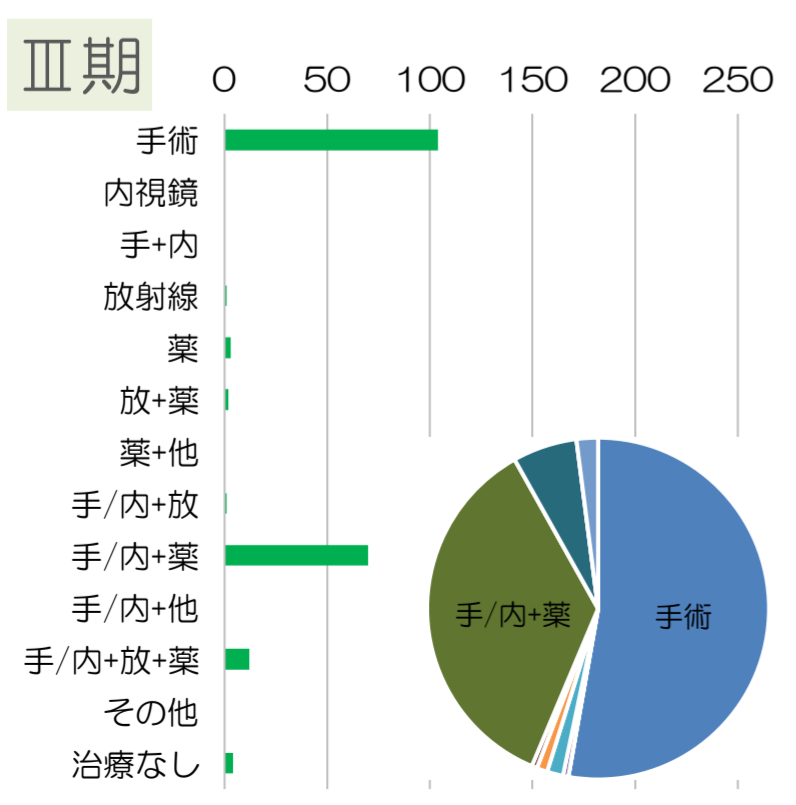
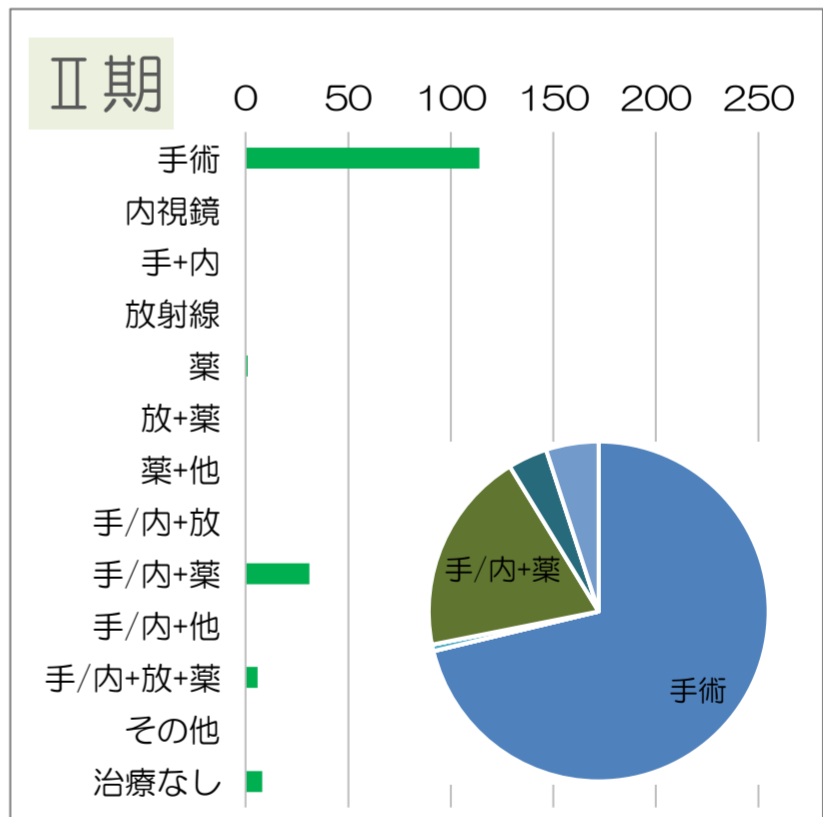
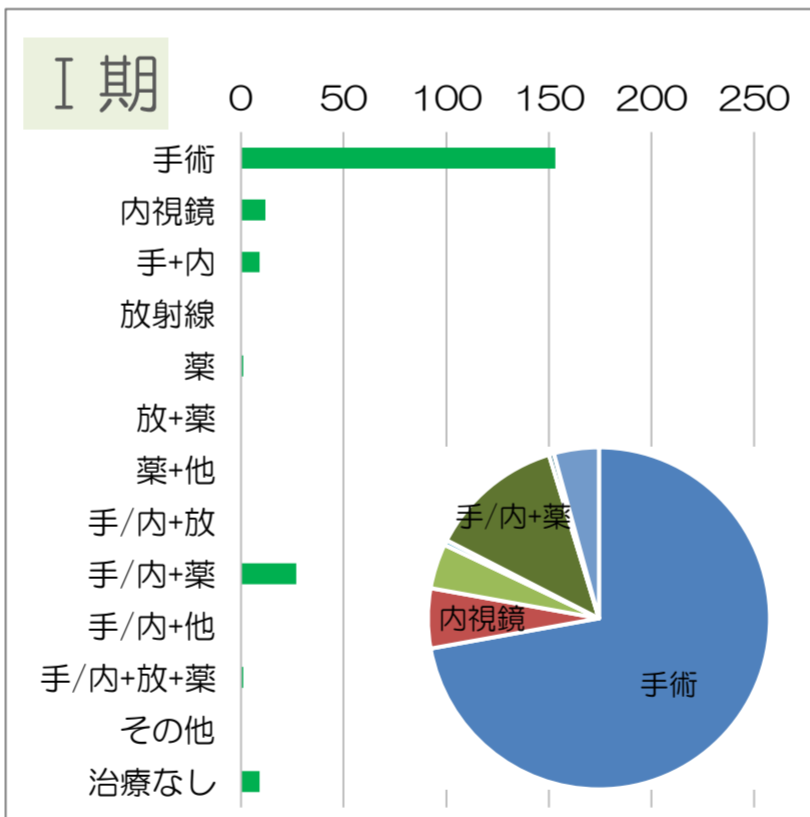
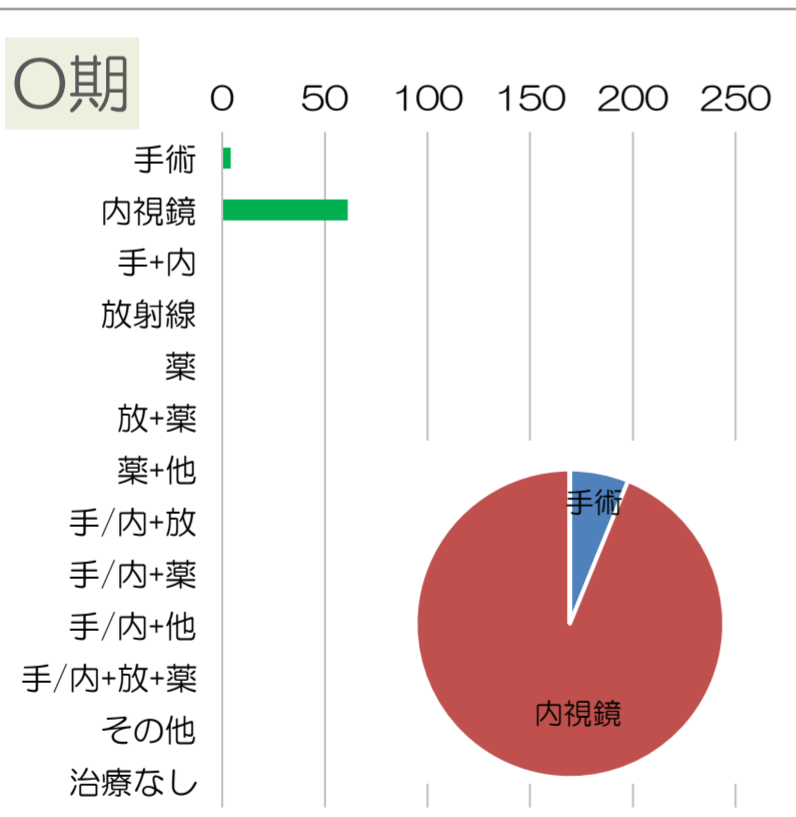
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
108	214	163	184	145	154	968

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

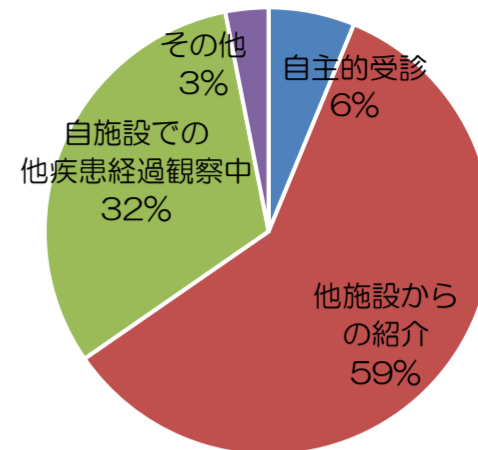
ステージ別治療方法



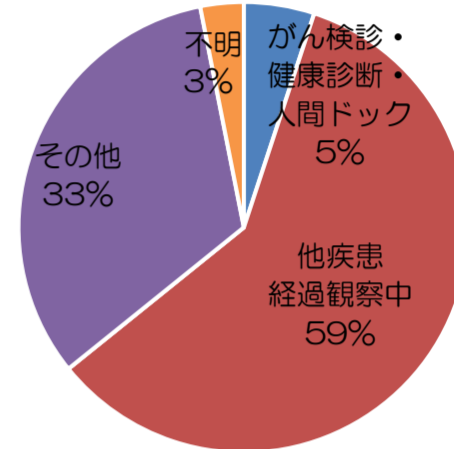
—肝臓(2018)—

肝臓がんは、男性182件、女性75件で総数は257件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では82%、女性は90%を占め、男性は75-84歳、女性は85歳以上が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は全国が多いが、Ⅱ期～Ⅳ期はすべて鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法+その他」、Ⅱ期では「薬物療法+その他」、「手術」、Ⅲ期では「治療なし」、「薬物療法+その他」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

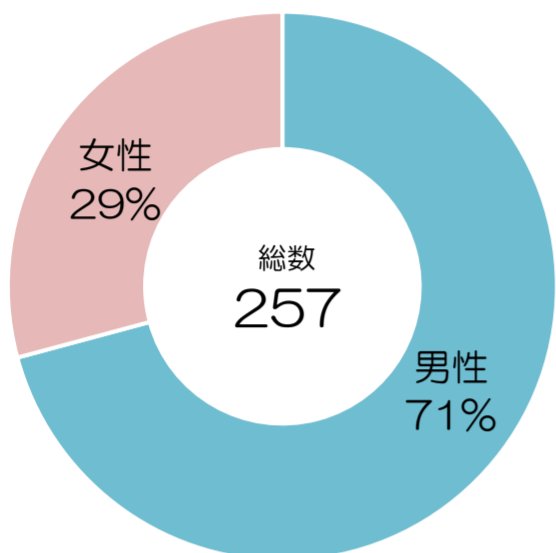
来院経路



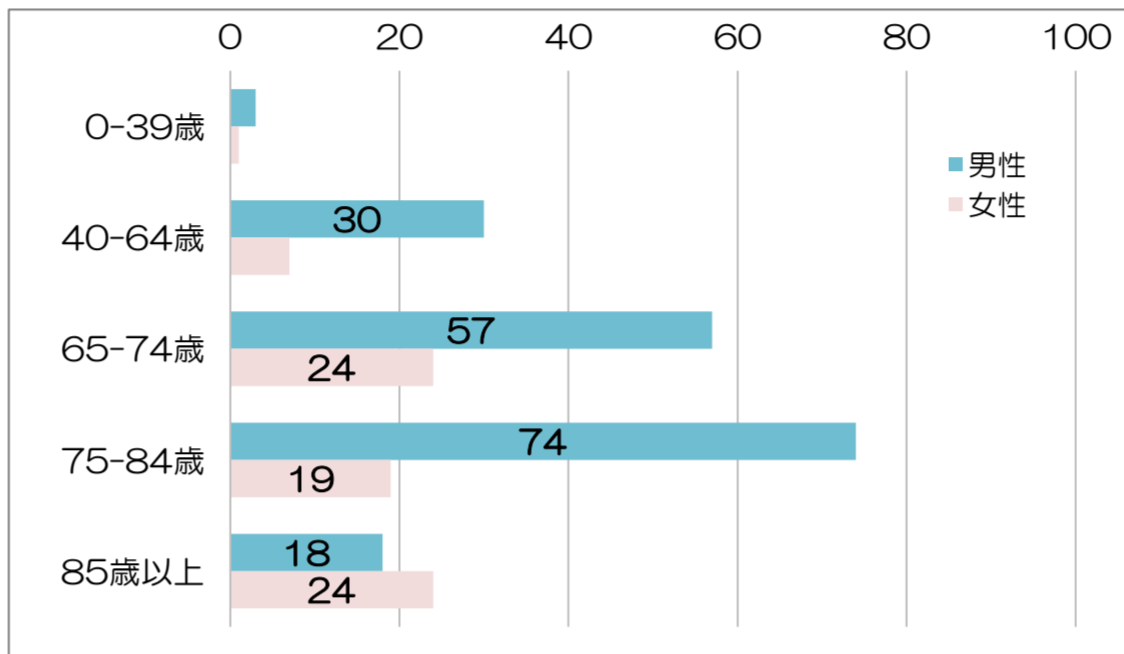
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

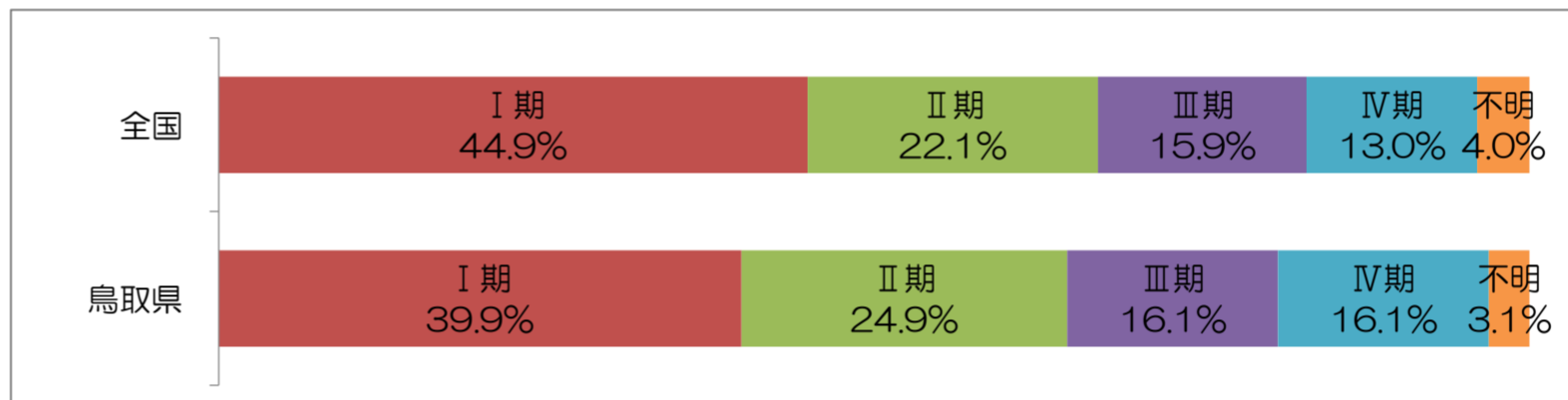


治療前ステージ別登録数

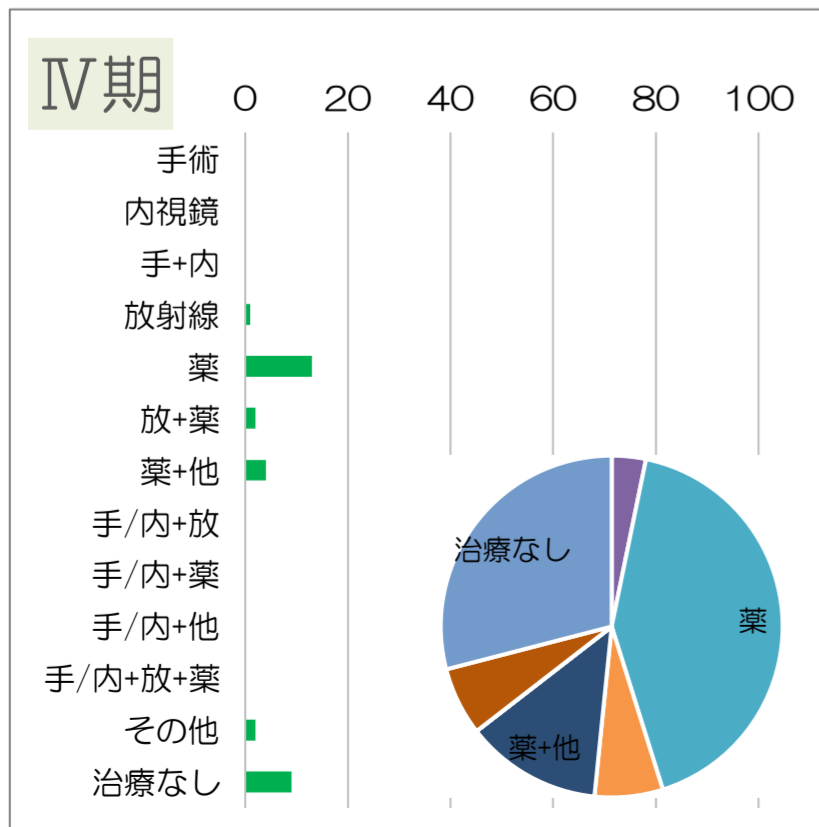
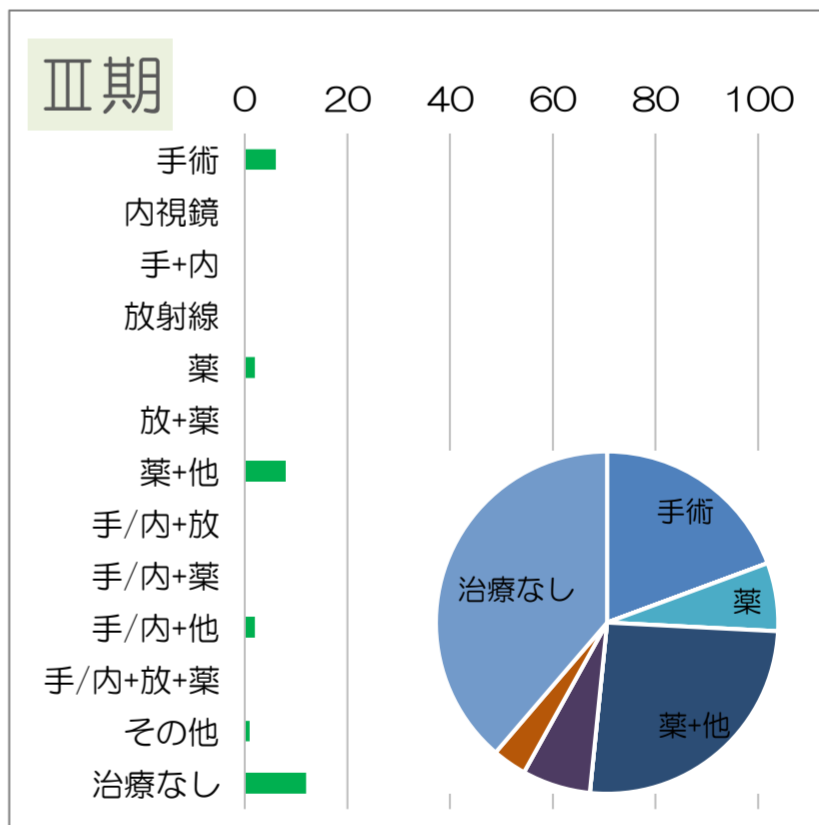
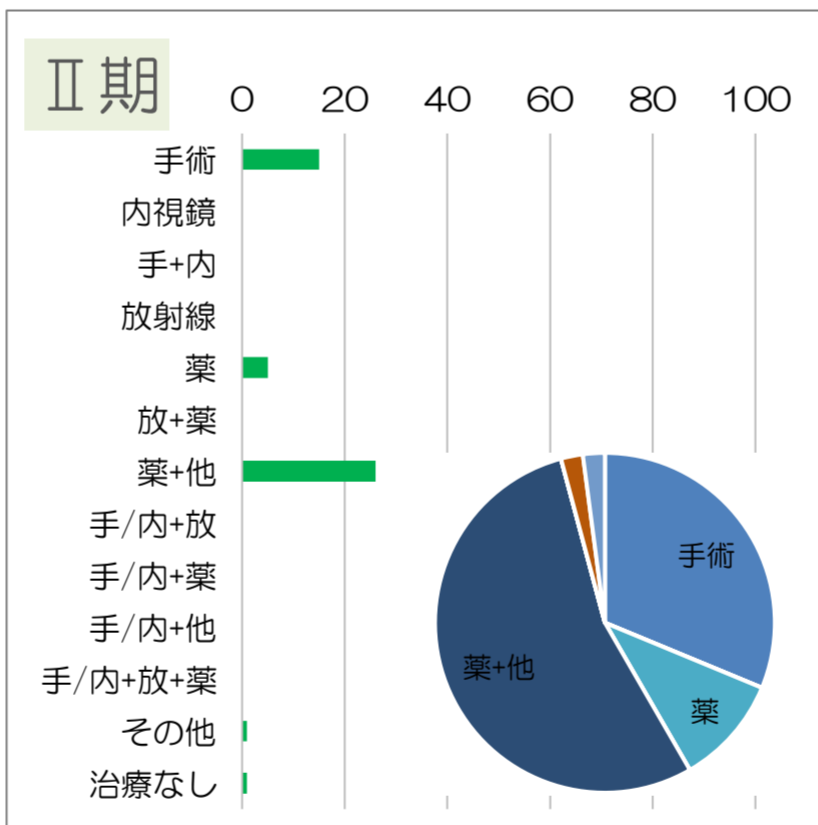
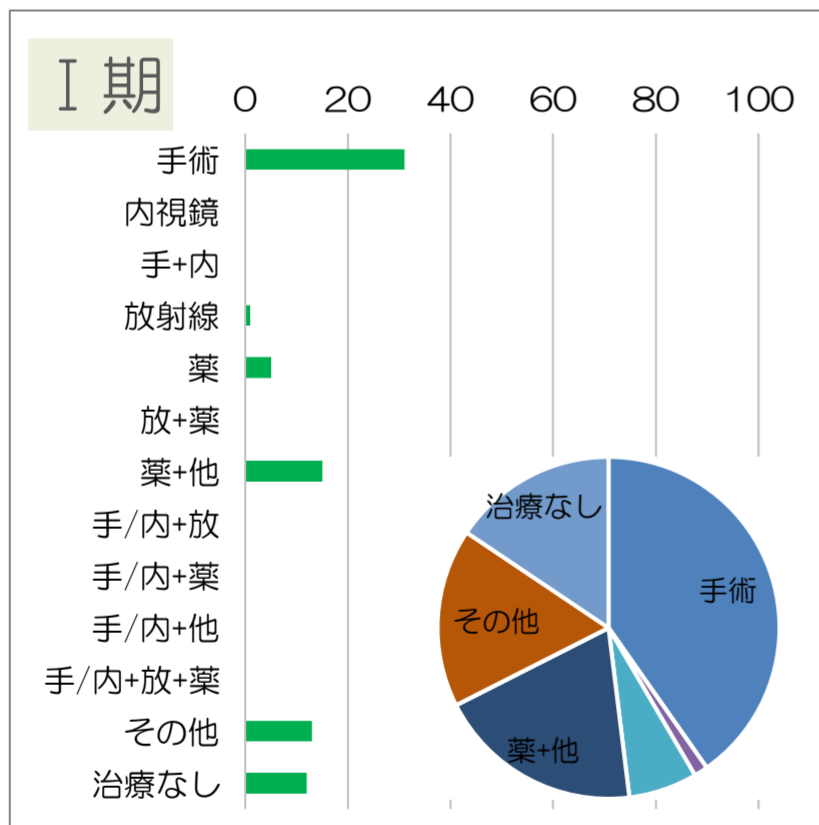
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
77	48	31	31	(4-6)	193

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



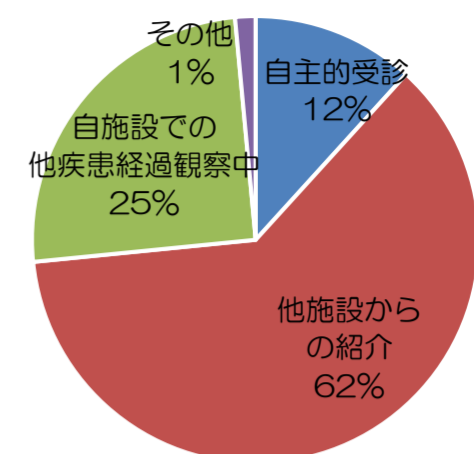
ステージ別治療方法



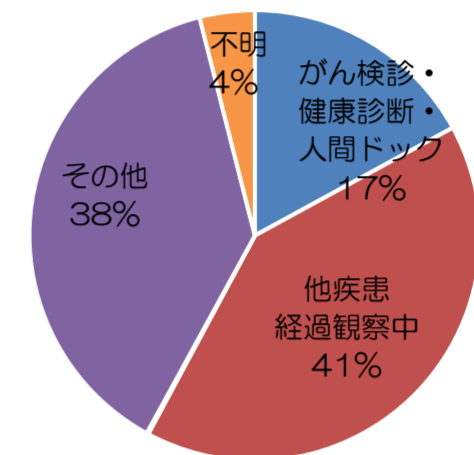
—肺(2018)—

肺がんは、男性547件、女性262件で総数は809件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも82%前後を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が42%、Ⅳ期が30%で最も多く、Ⅰ期～Ⅳ期ともすべて全国とほぼ同じ割合を示す。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、Ⅱ期では「手術」、「治療なし」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では、「薬物療法」、「治療なし」、「放射線+薬物療法」、Ⅳ期では、「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

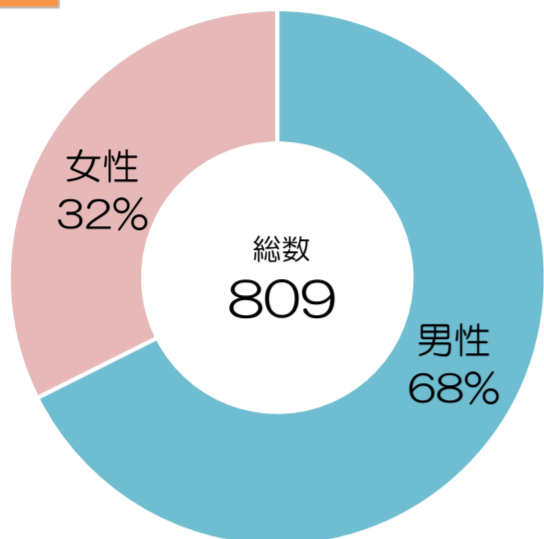
来院経路



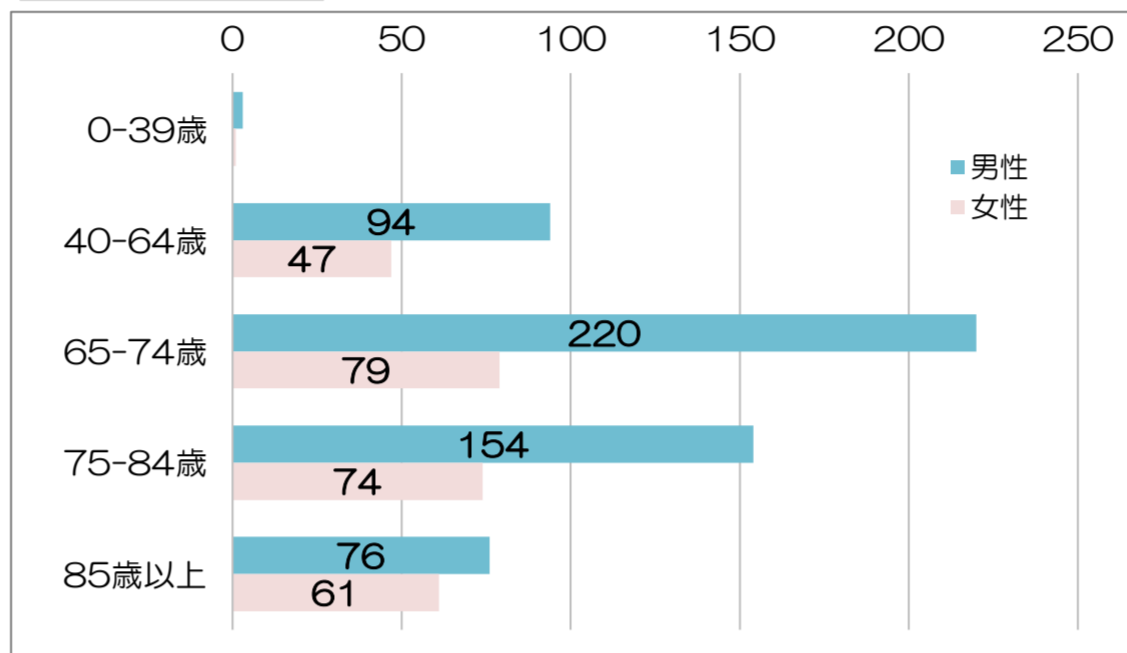
発見経緯



男女比



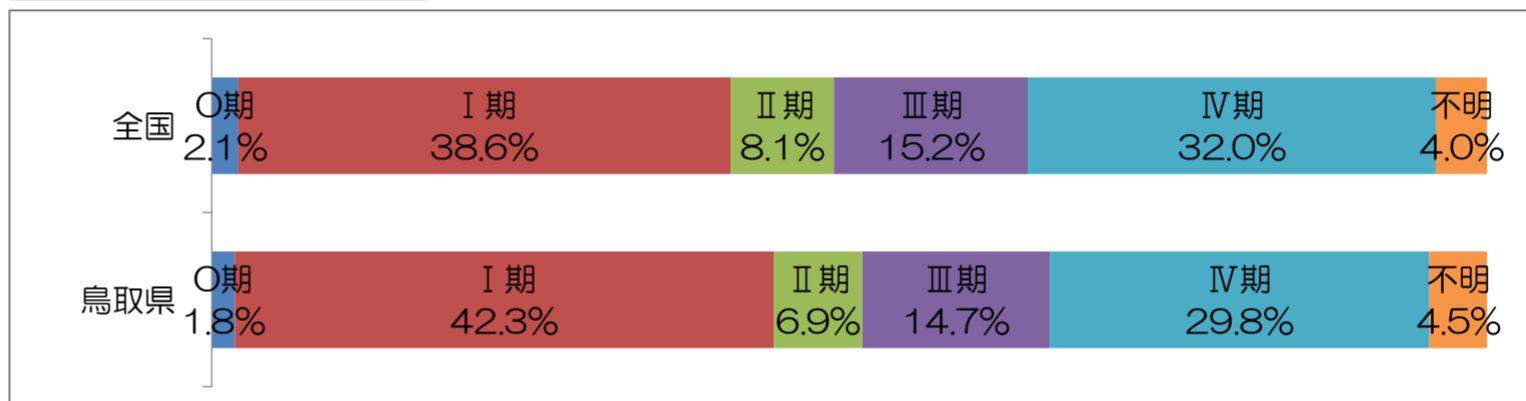
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

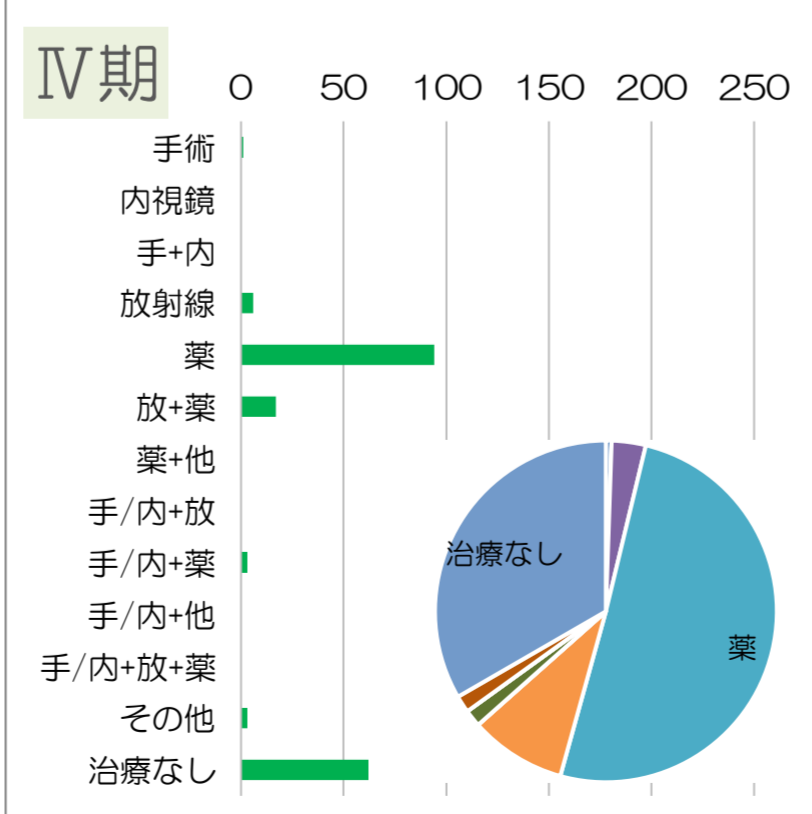
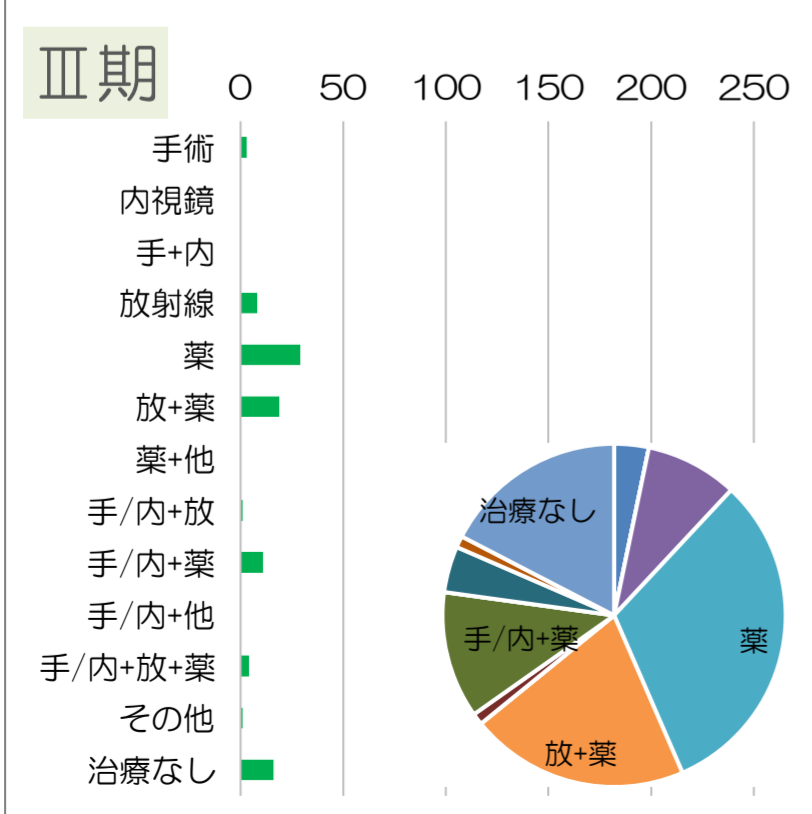
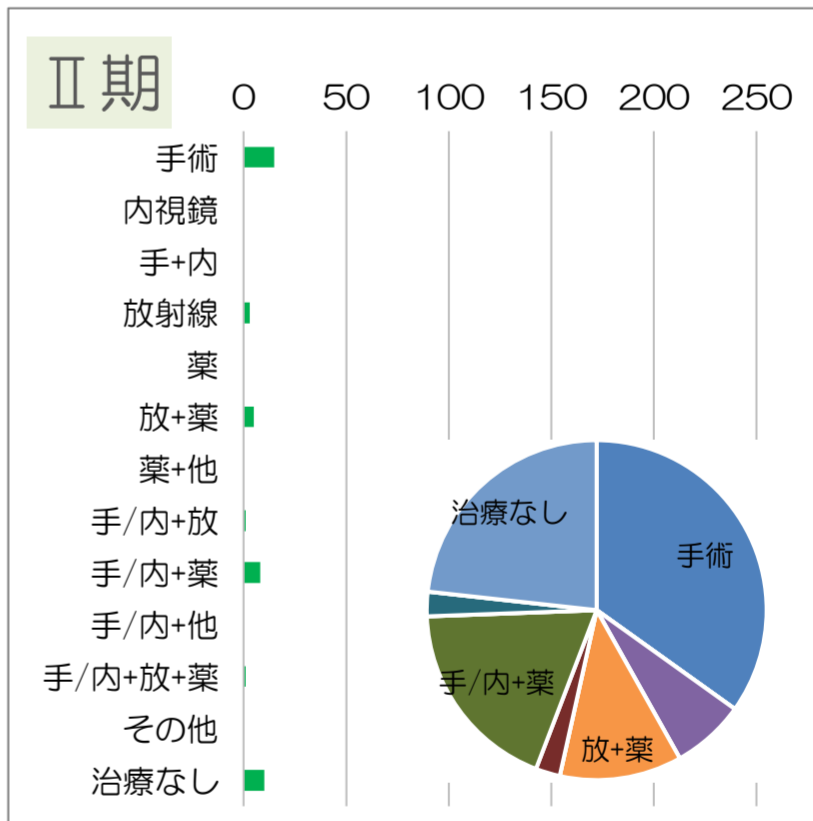
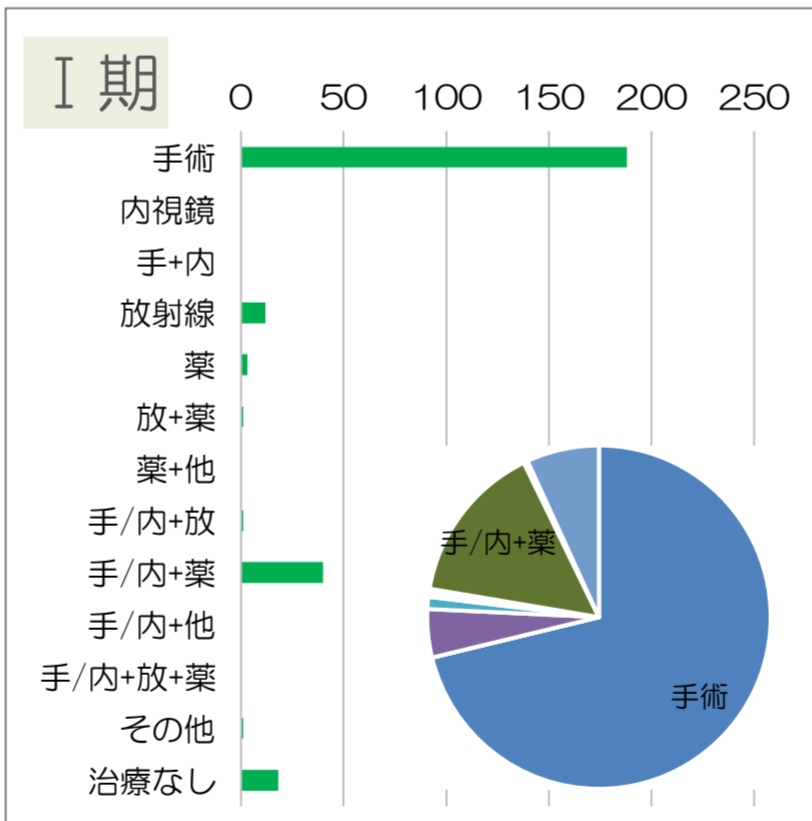
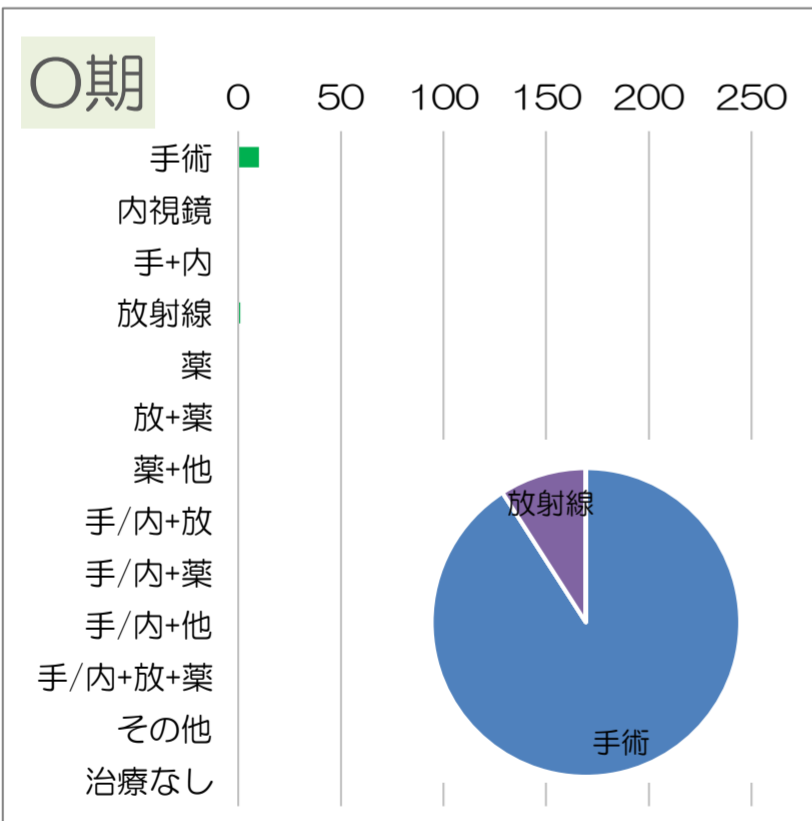
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計	
11	264	43	92	186	28	624

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

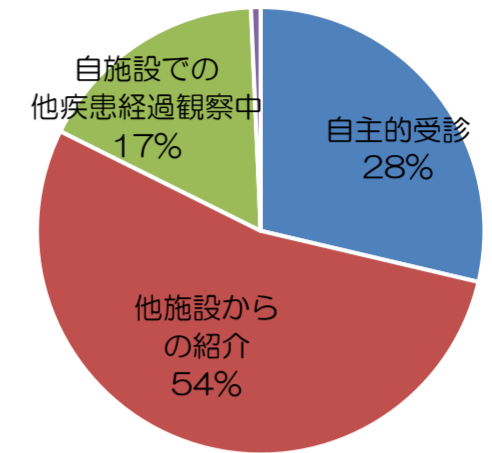
ステージ別治療方法



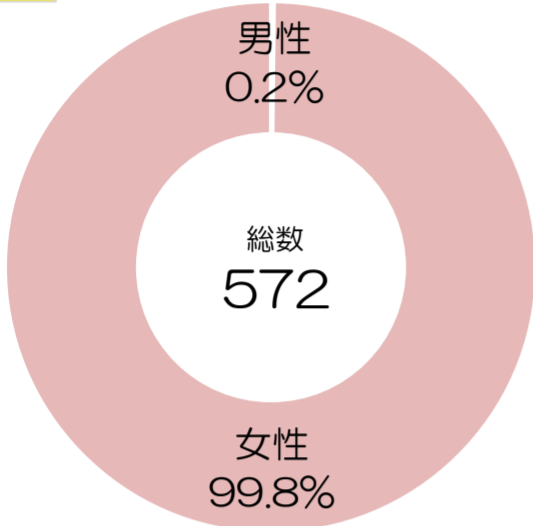
—乳房(2018)—

乳がんは、総数は572件、男性はわずかに0.2%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が48%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、Ⅰ期は全国が多いが、Ⅱ期～Ⅳ期はすべて鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅱ期では、「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、Ⅲ期では、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅳ期では「薬物療法」と「手術/内視鏡+薬物療法」の組合せで大半を占める。

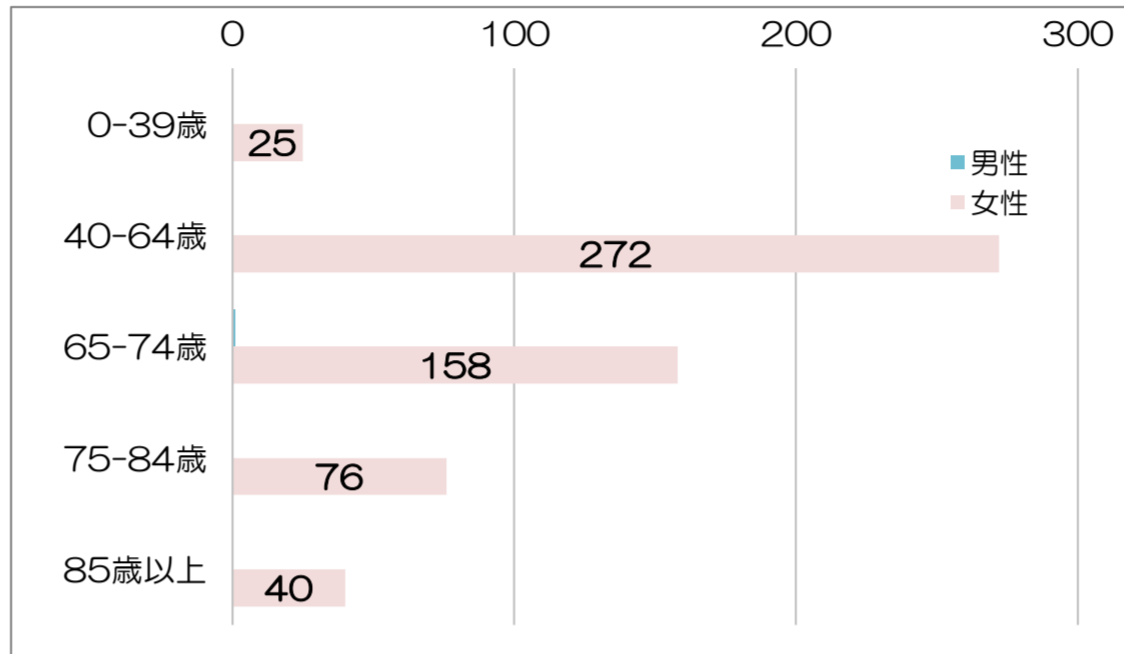
来院経路



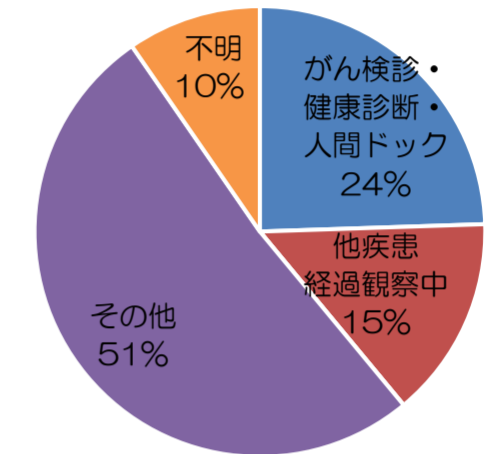
男女比



年齢別登録件数



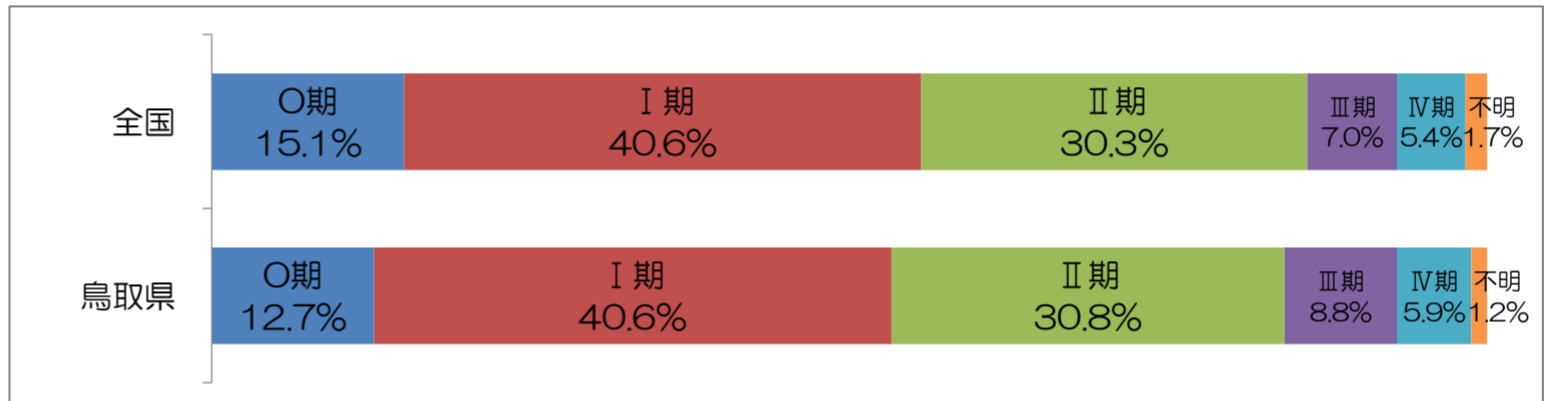
発見経緯



治療前ステージ別登録数

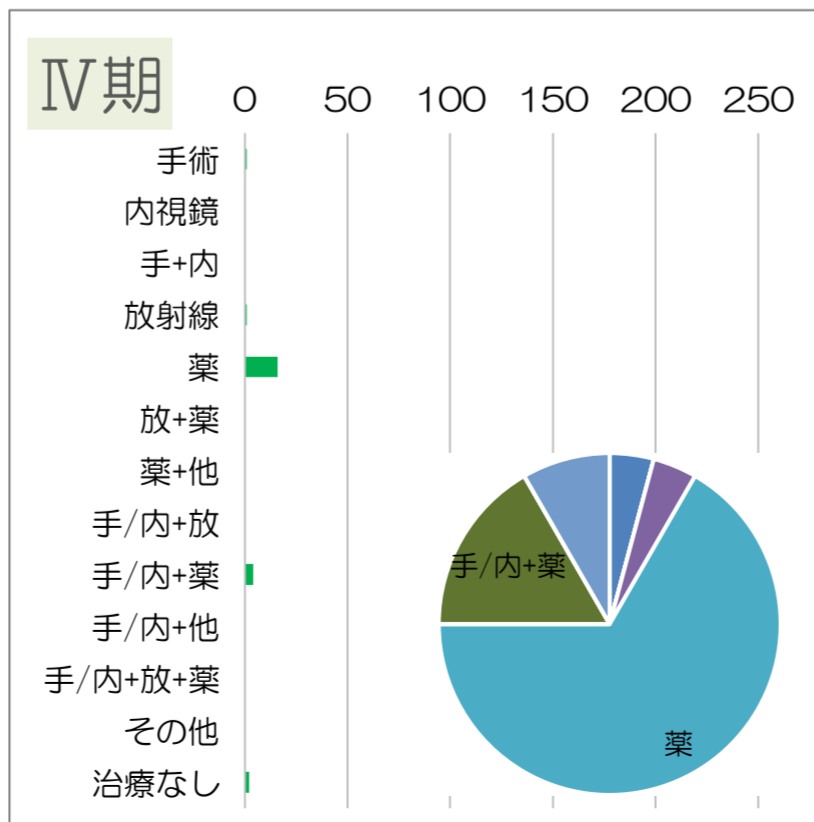
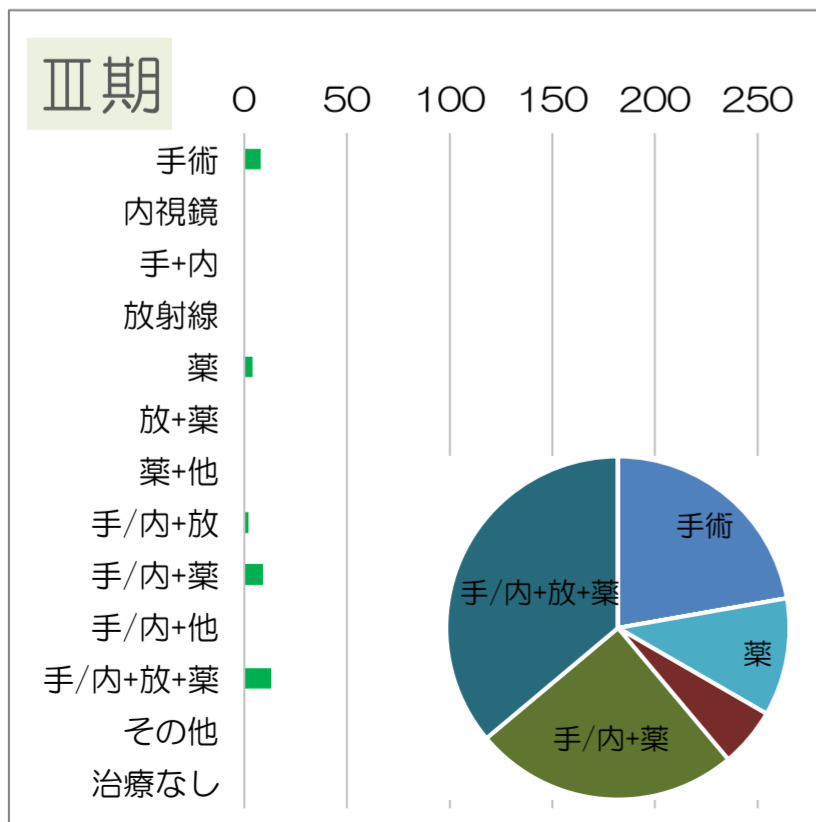
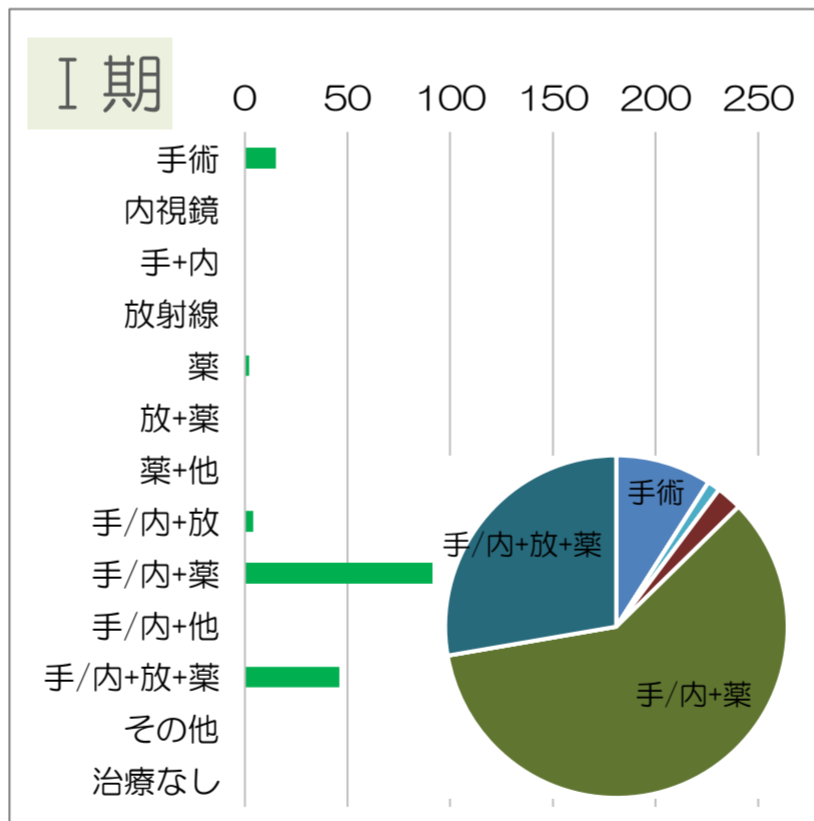
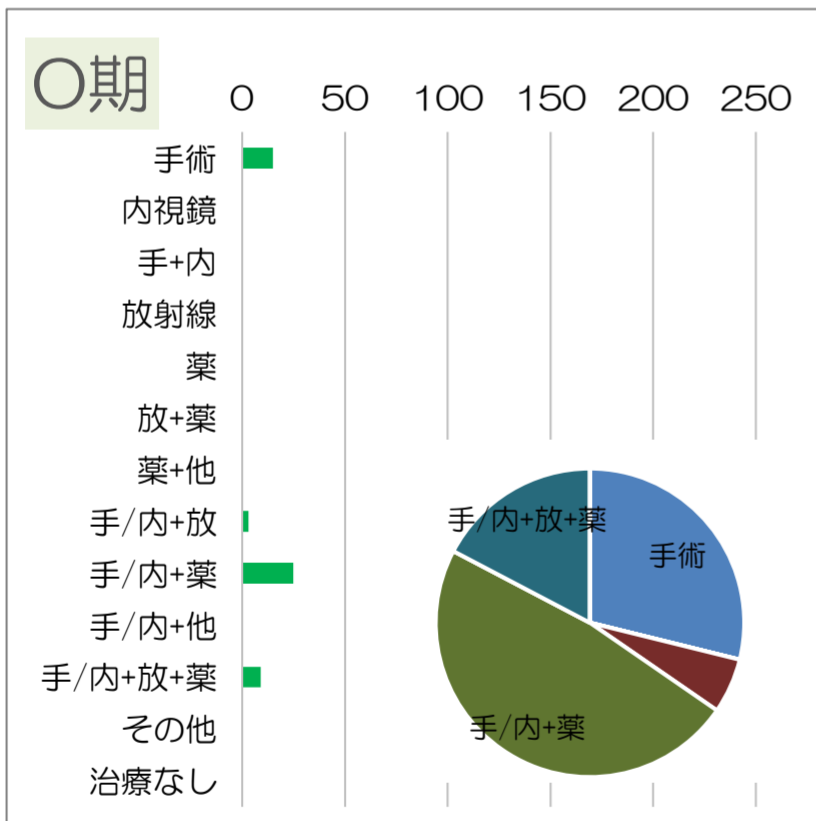
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
52	166	126	36	24 (4-6)	409

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ

ステージ別治療方法



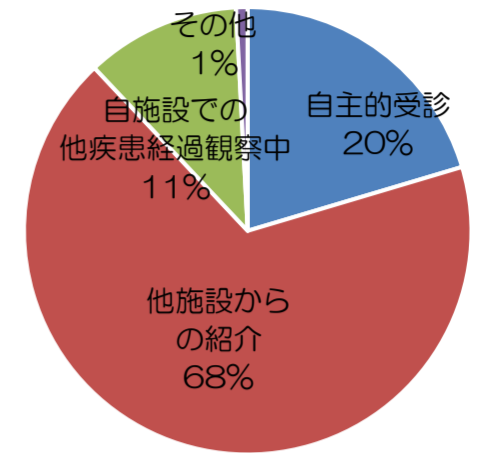
子宮(2018)

子宮がんは、総数358件、年齢階級別には、40-64歳が189件で最も多く、53%の半数を占めるが、40歳未満でも84件の23.4%を示す。

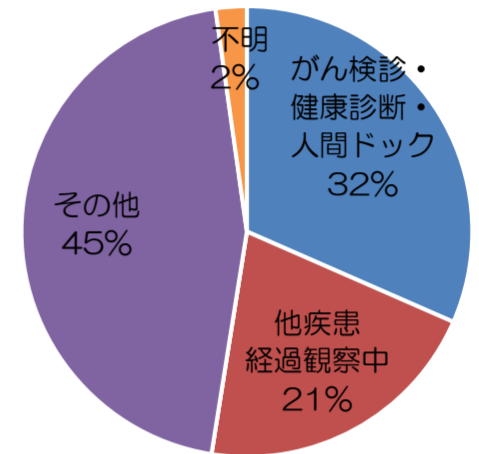
ステージ別には、子宮頸部は0期が最も多く、子宮体部はI期が最も多い。

ステージ別の治療方法は、0期では「手術」がほとんどで、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「手術/内視鏡+薬物療法」が半数以上を占め、III期では、これに「放射線+薬物療法」、「手術」、「放射線」が加わり、さらに、IV期では「治療なし」、「薬物療法」が加わる。

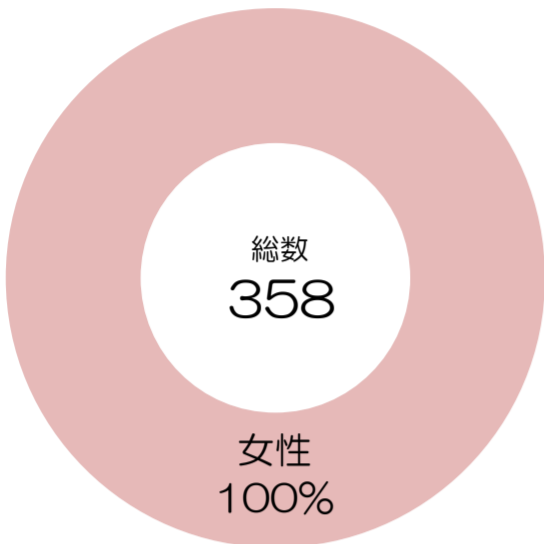
来院経路



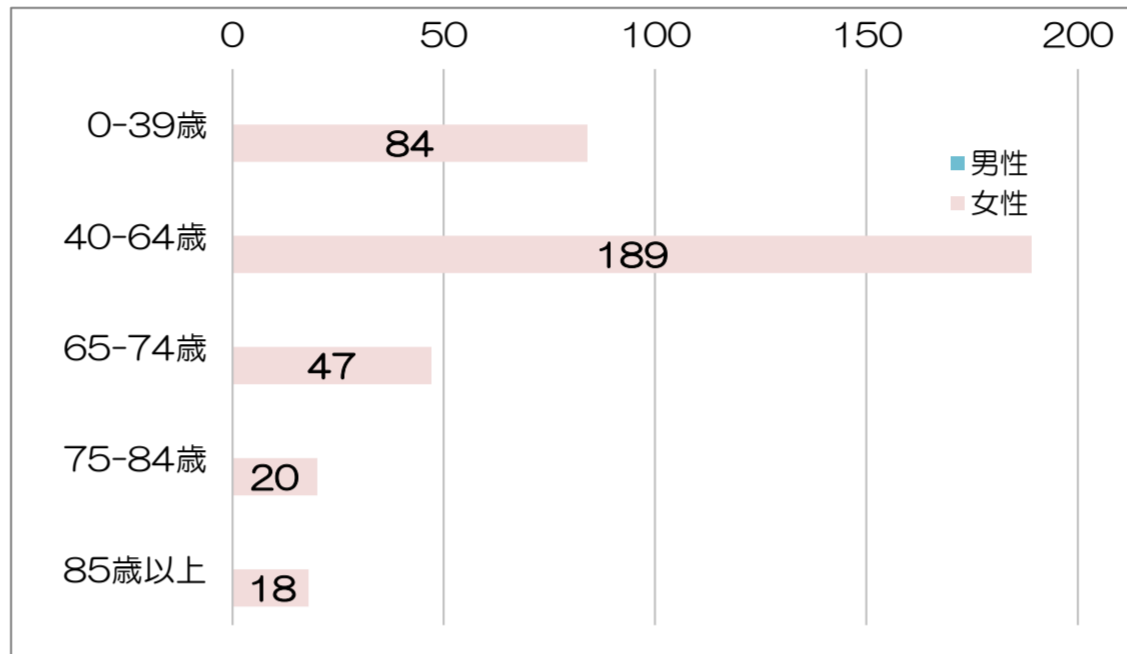
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

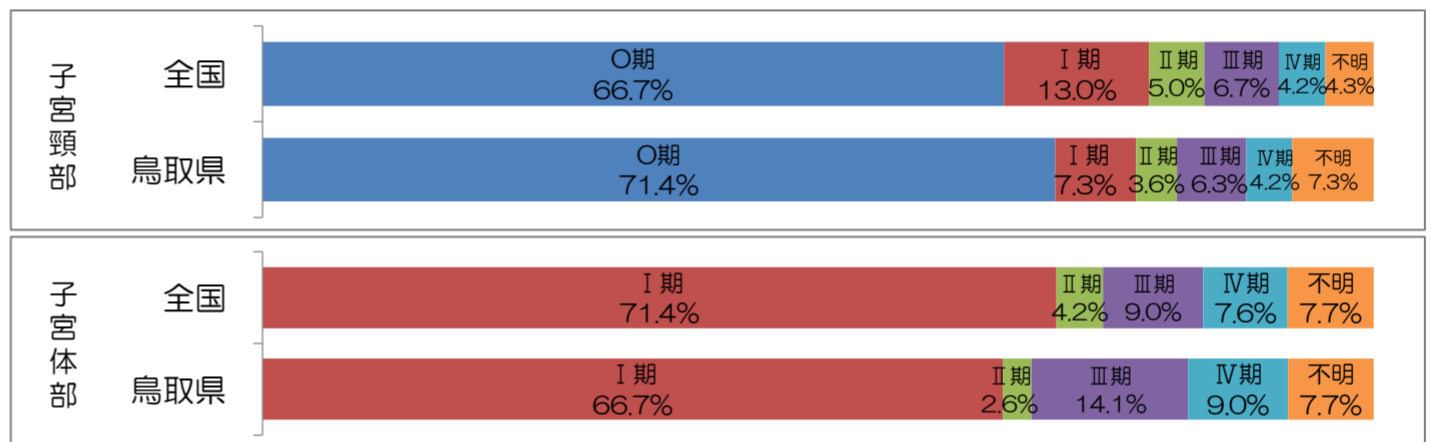


治療前ステージ別登録数

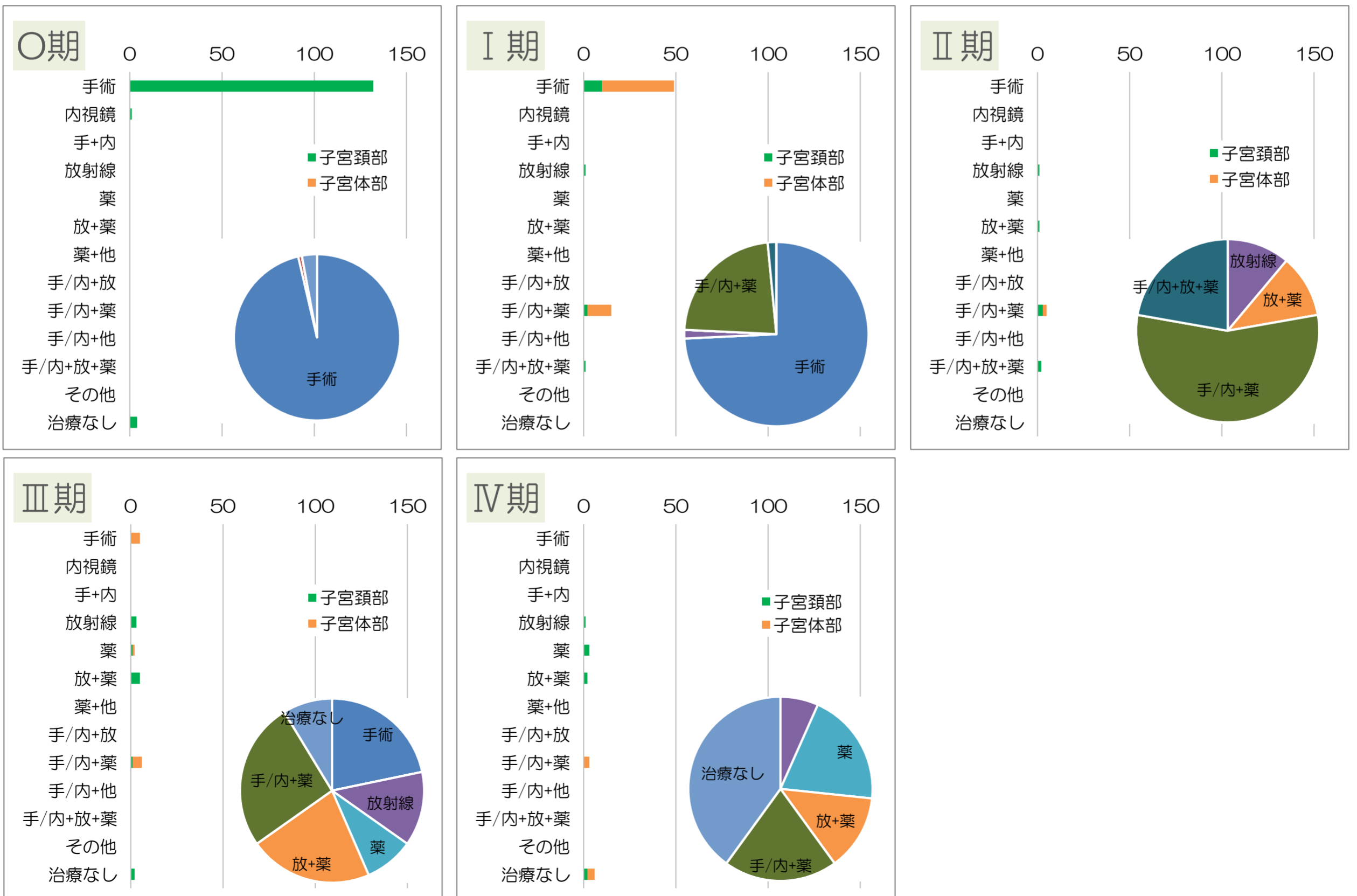
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	137	14 (7-9)	12 (7-9)	12 (7-9)	14 (7-9)	14	192
子宮体部	-	52 (1-3)	11 (7-9)	11 (7-9)	(4-6)	78	

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>



ステージ別治療方法

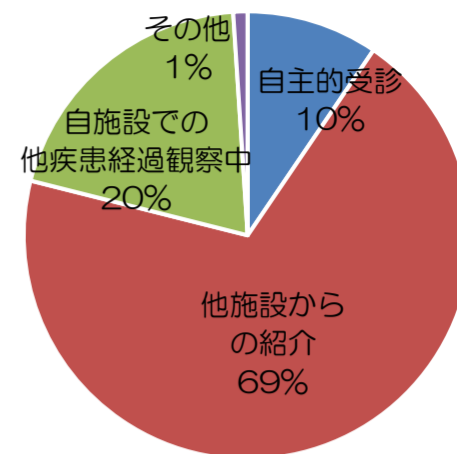


—前立腺(2018)—

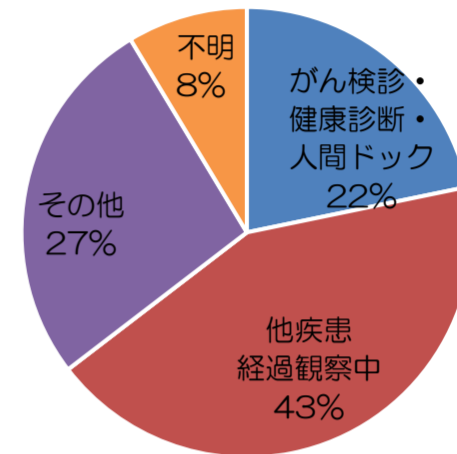
前立腺がんは、総数579件、年齢階級別には、65-74歳は243件と最も多く、42%を占め、65歳以上は90%を示す。

ステージ別には、Ⅰ期が最も多いが、全国よりは少ない。Ⅲ期～Ⅳ期は鳥取県が多い。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「薬物療法」、「手術」、「治療なし」で3/4、これに「放射線+薬物療法」や「放射線」が加わり多種多様、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」となる。

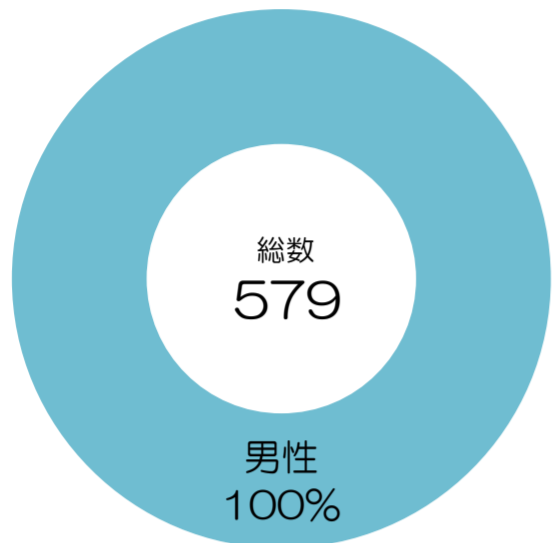
来院経路



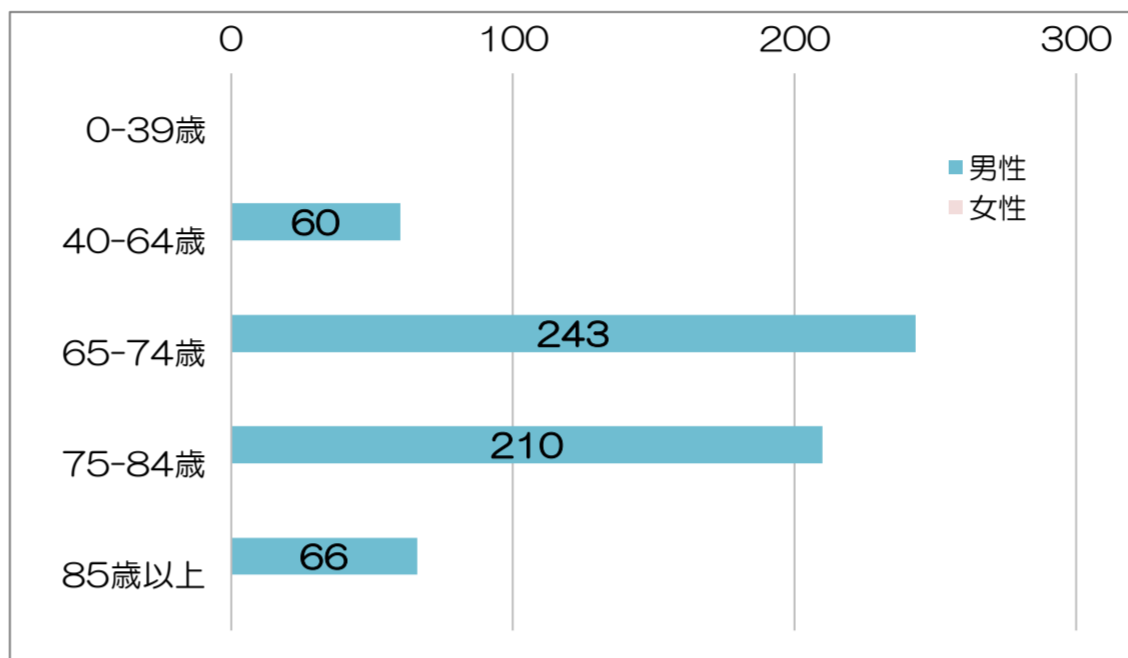
発見経緯



男女比



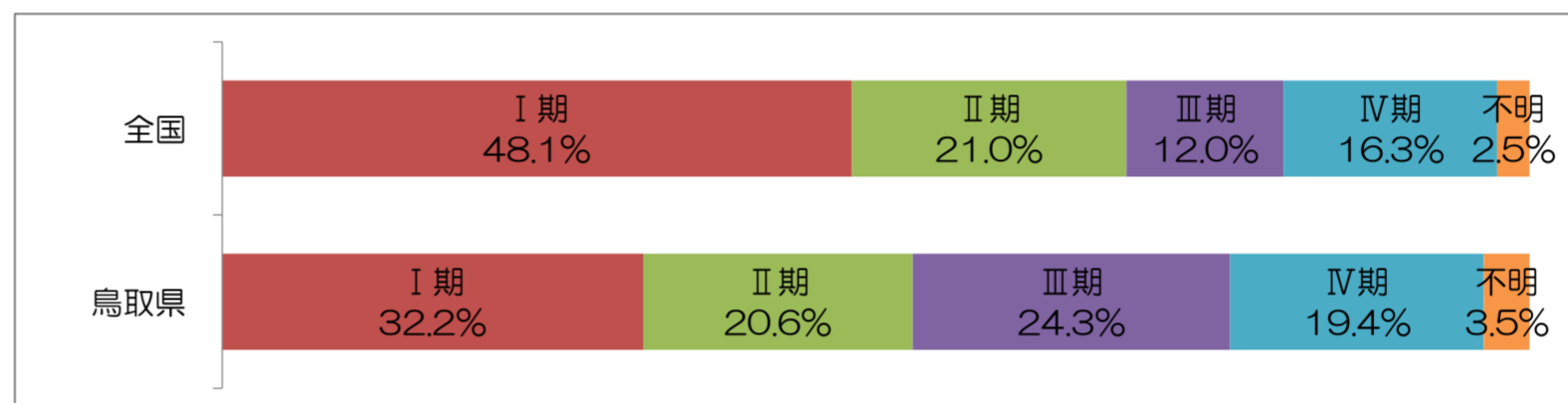
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
136	87	103	82	15	423

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

ステージ別治療方法

